

広域協力を通じた南米南部家畜衛生改善のための 人材育成プロジェクト

実施協議報告書

・

第二次事前評価調査報告書

・

第一次事前評価調査報告書

平成18年7月
(2006年)

独立行政法人 国際協力機構
農村開発部

農 村

J R

06-41

序 文

我が国は、長年に亘りアルゼンチン共和国ラ・プラタ大学獣医学部に対し、技術協力を実施してきましたが、その結果、同国は家畜疾病対策分野での十分な技術力を有することになりました。そこで、アルゼンチン共和国は、この技術を近隣国と共有すべく、南米南部のボリビア共和国、パラグアイ共和国及びウルグアイ東方共和国を対象国に加え、これら4カ国の家畜衛生改善を目的とする技術協力プロジェクトを我が国に要請してきました。

独立行政法人国際協力機構は、この要請を受けて、平成15年12月に当機構農業開発部畜産園芸課 課長代理 星野和久を団長とする第一次事前評価調査を、平成16年10月に当機構農村開発部 第二グループ 第一チーム長 高田宏仁を団長とする第二次事前評価調査を実施し、案件実施の妥当性の確認と協力の枠組みを検討しました。その後、対象4カ国における広域協力の実施方法を整理し、平成17年7月から4カ国で順次、関係機関と実施協議を行い、広域及び各国プロジェクトの骨子及びその計画書を策定しました。その合意結果は実施協議議事録(R/D)として、署名を取り交わしております。

本報告書は、これらの調査及び協議の結果を取りまとめたものであり、今後広く関係者に活用され、関係各国の親善及び国際協力の推進に寄与することを願うものです。

最後に、これまでの調査の実施に当たりご協力いただいた各国及び我が国の関係各位に対し、厚く御礼申し上げるとともに、当機構の業務に対して今後ともなお一層のご支援をお願いする次第であります。

平成18年6月

独立行政法人 国際協力機構
農村開発部
部長 古賀 重成

総目次

序文

総目次

地図

略語一覧

第Ⅰ部

広域協力を通じた南米南部家畜衛生改善のための人材育成プロジェクト

実施協議報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第Ⅱ部

南米広域南米南部家畜疾病診断技術強化（仮称）

第二次事前評価調査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145

第Ⅲ部

南米地域における家畜疾病防除計画（仮称）

第一次事前評価調査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 235

広域協力を通じた
南米南部家畜衛生改善のための人材育成プロジェクト
位置図



略 語 一 覧

C/P :	カウンターパート
DILAVE :	農牧省家畜衛生研究部 (ウルグアイ)
JCC :	プロジェクト合同調整委員会
JICA :	独立行政法人国際協力機構
LIDIIV :	獣医診断研究所 (パラグアイ)
LIDIVET :	獣医診断センター (ボリビア)
MERCOSUR :	南米南部共同市場
OIE :	国際獣疫事務局
PCM :	プロジェクト・サイクル・マネージメント
PDM :	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PO :	活動計画
PPJA :	日本—アルゼンチン・パートナーシップ・プログラム
R/D :	実施協議
SENACSA :	家畜衛生センター (パラグアイ)
SENASAG :	国立農牧衛生機構 (ボリビア)

第 I 部

広域協力を通じた南米南部 家畜衛生改善のための人材育成プロジェクト 実施協議報告書

目 次

1. はじめに	5
2. 実施協議までの経緯または変更点	5
2-1 事前評価表	5
2-2 アルゼンチン国以外の協力対象3ヵ国における国際約束の形成	6
3. 実施協議	8
3-1 アルゼンチン国実施協議	8
3-2 ボリビア国実施協議	8
3-3 パラグアイ国実施協議	8
3-4 ウルグアイ国実施協議	8
4. プロジェクトの骨格	9
5. プロジェクトの管理・運営方法	11
5-1 運営方法	11
5-2 運営経費	11
5-3 長期専門家	12
付属資料	
1. 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）	15
2. アルゼンチン国実施協議議事録（R/D） 2005年7月署名	27
3. アルゼンチン国ミニッツ 2005年7月署名	40
4. 広域プロジェクト計画書PDM（西文）	52
5. アルゼンチン国プロジェクト計画書PDM（西文）	53
6. ボリビア国実施協議議事録（R/D） 2005年8月署名	56
7. ボリビア国ミニッツ 2005年8月署名	69
8. ボリビア国プロジェクト計画書PDM（英文） 2006年6月 指標確定版	81
9. ボリビア国プロジェクト計画書PDM（西文） 2006年6月 指標確定版	85
10. パラグアイ国実施協議議事録（R/D） 2005年8月署名	88
11. パラグアイ国ミニッツ 2005年8月署名	101
12. パラグアイ国プロジェクト計画書PDM（英文） 2006年6月 指標確定版	113
13. パラグアイ国プロジェクト計画書PDM（西文） 2006年6月 指標確定版	117
14. ウルグアイ国実施協議議事録（R/D） 2006年4月署名	120
15. ウルグアイ国ミニッツ 2006年4月署名	133
16. ウルグアイ国プロジェクト計画書PDM（西文）	143

1. はじめに

本案件の実施協議は、JICA アルゼンチン事務所、ボリビア事務所、パラグアイ事務所によって、2005年7月から2006年4月にかけて、実施された。

第二次事前評価調査終了後から、この実施協議に至る一連の協議で、次章に記すとおり、プロジェクト計画書（PDM等）の一部変更がなされるとともに、ボリビア、パラグアイ及びウルグアイの3カ国も、アルゼンチンと同様に、日本との国際約束締結を行った上で、各国でプロジェクトを形成し、4カ国それぞれで技術協力プロジェクトを実施することで、広域協力とすることが整理された。

関係機関との協議の結果、これらの変更点を含む全ての合意事項は取りまとめられ、日本側代表と各国代表の間で、それぞれの実施協議議事録（R/D）が署名された。

2. 実施協議までの経緯または変更点

2-1 事前評価表

基礎調査及び二回の事前評価調査の結果をもとに作成した事前評価表（案）に、関係機関のコメントを反映、修正を施した上で、案件の実施説明書である事前評価表を取りまとめた（付属資料1「事業事前評価表」参照）。

ここでは、協力の骨格を次の通りとし、これを基本方針として、プロジェクトの枠組みを決定した。

【基本方針】

これまでアルゼンチン国ラ・プラタ大学で実施してきた家畜疾病診断技術に係る協力の成果を活用し、同国に隣接するボリビア国、パラグアイ国及びウルグアイ国に協力の対象地域を拡大し、家畜衛生改善のための技術力を強化することであり、

- 1) 家畜疾病診断を担う現職獣医師の再教育を実施し、
- 2) それらの人的連携、
- 3) 家畜衛生情報の広域ネットワークの整備

を実施するものである。

なお、第二次事前評価調査の結果から、事前評価表をまとめるに至るまでの変更点は、以下のとおりである。

【第二次事前評価調査結果からの変更点】

1. 「広域プロジェクト目標」及び「上位目標」について、変更した。
(理由) 当初案の上位目標は本案件による診断技術分野の改善のみでは達成が困難なことから、各目標を一段階低位のレベルにしたため。
 - 広域プロジェクトの目標
(当初案) 域内の疾病診断が適正に行われる
(新) 域内の疾病診断に係る人材育成制度が確立し、人的連携及び情報の両ネットワークが整備される
 - 上位目標

- (当初案) 域内の家畜衛生が向上する
(新) 域内の疾病診断が適正に行われる
2. 「広域プロジェクト目標」の指標について、加筆した。
(理由) 上記1の修正により、当該目標が新規の内容となったため。
 3. 「サブプロジェクト目標と成果」の成果、活動及び指標について、4 ヶ国間における成果、活動及び指標に関し、表現が異なるが同義のものは、可能な限り語句の統一をした。
(理由) 本案件実施に係る各国間の齟齬を生じないようにするため。
 4. 「サブプロジェクト目標と成果」の指標について、定量的指標に係る注釈を項目名の下に加えた。
(理由) 現在いくつかの指標に設定されている、具体的数値の算出根拠が不明確であるため。注釈にある通り、係る指標の最近数年間の実績データの提出をカウンターパート機関に依頼し、精査の上、再検討の必要があるため。
 5. アルゼンチン国 ②「活動及びその成果」の成果1に係る指標について、「日本の大学院卒業が増える」を削除した。
(理由) 本案件のカウンターパート研修では、本邦での学位取得を目的とする長期の研修を予定していないため。
 6. ウルグアイ国の活動3-1及び3-3を次の通り変更した。
活動3-1. (旧) 現場の獣医師が教育コースに参加する。 →
(新) 現場の獣医師に研修コースを実施する。
活動3-3. (旧) 現場の獣医師が卒後教育に参加する。 →
(新) 現場の獣医師に卒後教育を実施する。
(理由) ウルグアイ国の暫定PDM(西語)の記述を、より適切に訳出したため。
 7. ウルグアイ国の活動6-2から6-4までを次の通り変更及び削除した。
6-2. (旧) 計画を策定する。 →
(新) プロジェクト運営委員会(SC)に定期的に参加する。
6-3. (旧) 計画に沿ってシステムを実施する。 → (新) 削除
6-4. (旧) モニタリングとフォローアップを実施する。 → (新) 削除
(理由) 旧6-2から6-4は、他3ヶ国ではSC参加に係る記述における、一段階低位の活動となっていることから、各国間で内容を統一するため。
 8. 日本側投入の「短期専門家」について、チーフアドバイザーに係る記述を削除した。
(理由) 長期専門家が専門技術分野と併せて、「業務調整」のみならず「プロジェクト運営管理全般」を業務内容とすることから、別途チーフアドバイザー職を置かないため。

2-2 アルゼンチン国以外の協力対象3ヶ国における国際約束の形成

一方、案件実施において、対象4ヶ国で国際約束を形成した上で、広域プロジェクト開始時に署名する合意文書は実施協議議事録(R/D)に変更した。

第二次事前評価調査時点では、「本案件の開始に向け、今後、本案件の要請書が提出されているアルゼンチン国と我が国との間で実施協議議事録（R/D）の署名交換を行う一方で、ボリビア国、パラグアイ国、ウルグアイ国の他 3 ヶ国は、それぞれの国と我が国に、アルゼンチン国を加えた 3 者署名によるミニッツの署名交換を行う」ことを想定し、我が国と協力対象 4 ヶ国との間で合意されていた（詳細は「第二次事前評価調査報告書 6」参照）。

しかしながら、この方法では、我が国がアルゼンチン国以外の 3 ヶ国に専門家派遣、機材供与及び本邦カウンターパート研修を実施する場合、種々の制限が生じることが明らかになった（具体的な制限を以下に整理する）。

【ボリビア、パラグアイ、ウルグアイに対する技術協力を、国際約束の形成を行わない場合の問題点】

a) 専門家

本邦専門家は、ボリビア、パラグアイ、ウルグアイへは業務出張することが可能であるが、一回の滞在期間が限られ、活動に制約を受ける。そもそも、本邦専門家の技術移転は、日本の国際協力機構法上、当該案件のために国際約束が形成された国に対してのみ可能である。

b) 機材供与

機材供与は、技術協力専門家等の派遣とセットである必要がある。そのため、原則、国際約束の形成がなされないボリビア、パラグアイ、ウルグアイへの機材供与は不可能となる。

c) 研修

域内での在外研修実施には特に制約はないが、アルゼンチン以外の 3 ヶ国の人材を本邦研修に参加させる場合は、別途要請書（A2A3 フォームなど）を取り付け、地域別研修として採択されるなどの手続きが必要となる。

そこで、関係者と協議の結果、要請を起こしたアルゼンチン国のみと実施協議議事録（R/D）の署名を行うのではなく、他 3 ヶ国からも要請書を取り付け、国際約束を形成（口上書交換）した上で、個々に技術協力を開始し、連携を図ることで広域協力を実施することとした。これに伴い、各国との主たる合意文書は、「ミニッツ」から「実施協議議事録（R/D）」に変更した。

なお、実施協議を行う際、以下の「実施協議における留意事項」に留意した。

【実施協議における留意事項】

- 早期の開始を鑑み、実施協議議事録（R/D）の署名交換を完了した国から随時案件を開始することとする。ただし、終了日は全ての国で同一日とする。
- 文書内で使用される語句の統一を行うこと。

- 活動拠点国であるアルゼンチン国と他3カ国との性格の違いから、実施協議議事録（R/D）案 ” THE ATTACHED DOCUMENT ” のうち II. REGIONAL TECHNICAL COOPERATION、V. ADMINISTRATION OF THE PROJECT 及び VI. JOINT EVALUATION について、アルゼンチン国と他3カ国の間で記述の差異が若干付けられている。

3. 実施協議

前述の実施協議議事録（R/D）（案）と、追加的な内容を記したミニッツ（案）及び「実施協議における留意事項」をもとに、対象各国別に日本側代表（JICA 事務所長）と先方関係機関代表とのプロジェクト実施協議が行われた。以下に協議の概要等を記す。

3-1 アルゼンチン国実施協議

2005年7月7日、ブエノスアイレスにおいて、アルゼンチン国ラ・プラタ大学学長、JICA アルゼンチン事務所長の間で本案件の実施協議議事録（R/D）及びミニッツが署名交換された。これを受けて、本案件は2005年8月1日より5年間の協力期間をもって開始された。

協力活動の先鞭として同年8月8日、ラ・プラタ大学は協力対象大学から各4名の研修員を受け入れ、11月4日まで約3ヵ月間のC/P 在外研修を開始した。

3-2 ボリビア国実施協議

2005年8月2日、サンタクルスにおいて、ボリビア国ガブリエル・レネ・モレノ大学学長、JICA ボリビア事務所長の間で実施協議議事録（R/D）及びミニッツが署名交換された。

その直後の8月5日、先方機関において学長及び獣医学部長の交代がなされたことから、9月27日から30日まで、アルゼンチン事務所はラ・プラタ大学より2名、同事務所より1名の計3名からなる調査団を先方機関へ派遣し、新学長及び学部長との協議を行った。

この協議では1) 案件概要の説明、2) 先方機関が取るべき措置の確認、3) ボリビア国側コーディネータの確認、4) ラ・プラタ大学に派遣した研修員の修了後の配置及びその活動計画に係る検討、5) 今後、機材投入を予定しているラボの整備状況調査等が行われた。

3-3 パラグアイ国実施協議

2005年8月17日、アスンシオンにおいて、パラグアイ国アスンシオン大学学長、JICA パラグアイ事務所長の間で実施協議議事録（R/D）及びミニッツが署名交換された。

3-4 ウルグアイ国実施協議

ウルグアイでの技術協力プロジェクトの実施協議議事録（R/D）及びミニッツ署名に向けて、ウルグアイ国代表と JICA アルゼンチン事務所間で、複数回の協議を行い、その結果、プロジェクトの内容自体については合意に至ったものの、2005年10月時点で、ウルグアイ

共和国大学法務部から、「実施機関たるウルグアイ国共和国大学が実施協議議事録（R/D）に記されている免税特権等を担保することはできず、そのため共和国大学がウルグアイ政府を代表して、実施協議議事録（R/D）の署名には応じられない」との回答があった。そのため、我が国は、同大学が単独署名できない事情を鑑み、署名できるステータスを備えたウルグアイ国政府代表機関（技術協力協定担当部門、我が国への案件要請担当部門及び農林水産省等の行政機関を想定）を代表機関とし、同大学には実施機関の立場で共同署名してもらう形式での調整を依頼し、関係機関の合意を得た。

これらの結果、2006年4月28日、モンテビデオにおいて、ウルグアイ国共和国大学学長、ウルグアイ国予算企画庁長官、JICA アルゼンチン事務所長の間で、実施協議議事録（R/D）及びミニッツが署名交換された。

4. プロジェクトの骨格

関係機関との一連の協議を受けて、実施協議において合意されたプロジェクトの概要は以下のとおりである。

(1) プロジェクト名

和名：「広域協力を通じた南米南部家畜衛生改善のための人材育成」プロジェクト

英名：The Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene
in Southern part of South America through Regional Technical Cooperation

(2) カウンターパート機関

- アルゼンチン： ラ・プラタ大学
- ボリビア： ガブリエル・レネ・モレノ大学
- パラグアイ： アスンシオン大学
- ウルグアイ： 共和国大学

(3) 対象者

アルゼンチン、ボリビア、パラグアイ、ウルグアイ各国の獣医学部の教育者、
ラボラトリー獣医師、現場獣医師

(4) 協力期間

2005年8月1日から5年間

(5) 基本計画

広域上位目標	家畜疾病診断が域内（南米南部地域）で適正に行われる			
広域プロジェクト目標	域内の疾病診断に係る人材育成制度が確立し、人的連携及び情報の両ネットワークが整備される			
	アルゼンチン	ボリビア	パラグアイ	ウルグアイ
広域プロジェクトのサブ目標 (=各国レベルのプロジェクト目標に相当)	ラ・プラタ大学獣医学部に域内家畜衛生人材育成センターとしての機能が整備される	ボリビア国における家畜疾病診断能力が向上する	パラグアイ国における家畜疾病診断能力が向上する	ウルグアイ国における家畜疾病診断能力が向上する
プロジェクトの成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. ラ・プラタ大学獣医学部教官の能力が向上する 2. 南米南部地域の家畜衛生のために、国際基準に適合した診断・研究が実施できる環境がラ・プラタ大学に整備される 3. 広域診断・疫学情報ネットワークが構築される 4. 広域調整システムが確立される 5. 広域研究グループが構成される 6. 広域ネットワーク内で互換性のある大学卒業後教育システムが確立される 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガブリエル・レネ・モレノ大学獣医学部教官の能力が向上する 2. 研究所（LIDIVET）の獣医師の能力が向上する 3. 現場（クリニック診断）の獣医師の能力が向上する 4. ボリビア国内のプロジェクトに関するラボでの作業手順の適正化が図られる 5. 広域診断・疫学情報ネットワークが構築される 6. 広域調整システムが機能する 7. 広域研究グループが構成される 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国立アスンシオン大学獣医学部教官の能力が向上する 2. 研究所（SENACSA）の獣医師の能力が向上する 3. 現場の獣医師の能力が向上する 4. ラボでの作業手順の適正化が図られる 5. 広域診断・疫学情報ネットワークが構築される 6. 広域調整システムが機能する 7. 広域研究グループが構成される 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 共和国大学獣医学部教官の能力が向上する 2. 研究所（DILAVE）の獣医師の能力が向上する 3. 現場の獣医師の能力が向上する 4. ラボでの作業手順の適正化が図られる 5. 広域診断・疫学情報ネットワークが構築される 6. 広域調整システムが確立される 7. 広域研究グループが構成される
プロジェクトの活動	1.1 ----- (略)	1.1 ----- (略)	1.1 ----- (略)	1.1 ----- (略)

(6) 専門家の分野

- 長期専門家： 「疫学情報資源整備／プロジェクト運営管理」 ×1名×5ヵ年
- 短期専門家： PCM手法及び第三国専門家の投入が困難な診断技術分野×
毎年度若干名
- 第三国専門家： 診断技術研修の講師派遣として若干名

5. プロジェクトの管理・運営方法

本プロジェクトは、a) 4ヵ国を対象とする広域案件、b) 既存の協力資源を最大限活用し新たな投入を抑えて事業実施、c) 本邦の長期派遣専門家は一名のみ配置する、等の特色がある。これらを踏まえて、現地でのプロジェクト管理の留意点について、以下にまとめた。

5-1 運営方法

- ① 広域プロジェクトの性格から、協力対象4ヵ国間の連携を促進し、かつ円滑な事業実施に向けての調整を行うため、主たるプロジェクト・サイトであるアルゼンチン国ラ・プラタ大学獣医学部に事務局を設置する。
- ② 同事務局には、プロジェクト・ダイレクタ及びプロジェクト・マネージャとは別に「ジェネラル・コーディネータ」を配置し、長期専門家と協力して実務レベルの統括指揮を執り行う。
- ③ アルゼンチン国以外の協力対象ボリビア国、パラグアイ国及びウルグアイ国との連絡調整のため、同事務局に「国担当コーディネータ」（担当国ごとに1名の計3名）を配置する。
- ④ ボリビア国、パラグアイ国及びウルグアイ国の協力対象大学獣医学部に、同事務局との連絡調整のため、「カンントリー・コーディネータ」（各国より1名の計3名）を配置する。
- ⑤ 専門家はアルゼンチン国を拠点として活動するが、必要に応じ他の3ヵ国に出張し、技術指導を行う。
- ⑥ 毎年の事業計画は、対象4ヵ国が参加する合同調整委員会により策定する。ただし、その事業は賦与された予算枠を順守した上で実施する。

5-2 運営経費

- ① 既存の協力資源である施設、機材、人材の有効活用を考え、大規模な新規の投入を行わず、運営に係る経費を可能な限り抑えることとする。
- ② 資機材は現地調達を基本とし、プロジェクト終了後も現地で日常的に利活用でき、維持管理が容易なものを導入する。ふだんから使い慣れているため、高品質であるため等の事由によらず、現地での技術定着に相応しい仕様の機材を調達する。

- ③ 診断・疫学情報ネットワーク構築のための資機材は、レンタルサーバ、オープンソースのフリーソフトウェア等を活用し、情報セキュリティには十分配慮しつつも可能な限り簡素なシステムとする。プロジェクト終了後も保守管理の手間をかけず、わずかな経費で運用が継続できるものとする。

5-3 長期専門家

これまで我が国は、アルゼンチン国ラ・プラタ大学に対する協力などを通じ、南米の個々の家畜を対象とする診断能力向上に係る成果を挙げてきた。しかしながら、次のステップとして地域（県・州）や国レベルの総合的な疾病対策を行うには、個々の家畜ではなく家畜群を対象とし疾病発生の頻度や分布を明らかにする、いわゆる「疫学」に関する情報資源の作成と配信が必要であり、これまでの調査の結果、このことが喫緊の課題となっていることが確認されている。

これを受けて、プロジェクトの長期専門家の指導科目を「疫学情報資源整備／プロジェクト運営管理」とし、疫学の方法論に基づく診断データの解析手法の指導、診断・疫学情報ネットワークの構築、運用に係る活動をカウンターパートと協力して実施することとした。

また、本プロジェクトのために長期専門家チーフアドバイザーを派遣しないことから、「疫学情報資源整備／プロジェクト運営管理」長期専門家は、専門技術分野と併せて、調整業務を含むプロジェクト管理全般を担当する。

以 上

付 属 資 料

1. 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）	15
2. アルゼンチン国実施協議議事録（R/D） 2005年7月署名	27
3. アルゼンチン国ミニッツ 2005年7月署名	40
4. 広域プロジェクト計画書PDM（西文）	52
5. アルゼンチン国プロジェクト計画書PDM（西文）	53
6. ボリビア国実施協議議事録（R/D） 2005年8月署名	56
7. ボリビア国ミニッツ 2005年8月署名	69
8. ボリビア国プロジェクト計画書PDM（英文） 2006年6月 指標確定版	81
9. ボリビア国プロジェクト計画書PDM（西文） 2006年6月 指標確定版	85
10. パラグアイ国実施協議議事録（R/D） 2005年8月署名	88
11. パラグアイ国ミニッツ 2005年8月署名	101
12. パラグアイ国プロジェクト計画書PDM（英文） 2006年6月 指標確定版	113
13. パラグアイ国プロジェクト計画書PDM（西文） 2006年6月 指標確定版	117
14. ウルグアイ国実施協議議事録（R/D） 2006年4月署名	120
15. ウルグアイ国ミニッツ 2006年4月署名	133
16. ウルグアイ国プロジェクト計画書PDM（西文）	143

1. 事業事前評価表（技術協力プロジェクト）

作成日：平成 17 年 7 月 11 日
担当部・課：農村開発部・
第二グループ畑作地帯第一チーム

1. 案件名

広域協力を通じた南米南部家畜衛生改善のための人材育成プロジェクト

2. 協力概要

(1) 協力内容

本案件は、これまでアルゼンチン国ラ・プラタ大学で実施してきた家畜疾病診断技術に係る協力の成果を活用し、同国に隣接するボリビア国、パラグアイ国、ウルグアイ国に協力の対象地域を拡大し、家畜衛生改善のための技術力を強化するため、家畜疾病診断を担う現職獣医師の再教育を実施し、それらの人的連携及びレファレンスライブラリ・疾病情報データベース・獣医師メーリングリスト等の利活用による家畜衛生情報の広域ネットワークの整備を実施するものである。

(2) 協力期間 2005 年 8 月～2010 年 7 月（5 年間）

(3) 協力総額（日本側） 3 億円

(4) 協力相手先機関

アルゼンチン国：ラ・プラタ大学獣医学部（広域協力の拠点）
ボリビア国：ガブリエル・レネ・モレノ大学獣医学部
パラグアイ国：アスンシオン大学獣医学部
ウルグアイ国：共和国大学獣医学部

(5) 国内協力機関

文部科学省、東京大学、農林水産省（技術連携）

(6) 裨益対象者及び規模等 [*1]

(a) 大学獣医学部教官：

ラ・プラタ大学獣医学部（360 人）、ガブリエル・レネ・モレノ大学獣医学部（60 人）、アスンシオン大学獣医学部（175 人）、共和国大学獣医学部（260 人）

(b) 試験研究所（ラボラトリー、以下「ラボ」）の獣医師：

ボリビア国（40 人）、パラグアイ国（465 人）、ウルグアイ国（60 人）

(c) 現場（クリニック）の獣医師：

ボリビア国（600 人）、パラグアイ国（560 人）、ウルグアイ国（1,600 人）

*1 本案件による診断技術の普及及び、より正確かつ迅速な情報に基づく疾病対策は、広域内の家畜集団全体への便益が期待できるため、間接裨益対象者として広域内の家畜生産者が挙げられる。

3. 協力の必要性・位置付け

(1) 現状及び問題点

南米南部においては、南米南部共同市場（以下「メルコスール」）諸国が中心となり域内貿易の自由化が進められており、2003年には、その一環として隣接するアンデス共同体との自由貿易協定（FTA）が締結されるなど、経済的な結びつきの広域化、深化が進んでいる。

こうした動きは、同地域の主要産業の一つである畜産業の活性化につながり、国際間の家畜生体・畜産物の流通が盛んになっているのと同時に、家畜疾病が国境を越えて伝播するリスクも高まっている。

家畜疾病は、ひとたび発生すると単純に家畜が損失し、農家経済に影響を与えるだけでなく、ウルグアイ国（2001年）、アルゼンチン国（2001年、2003年）等で口蹄疫発生時に諸外国から輸入禁止措置がとられたように、国家経済に多大な影響を与える可能性を秘めている。

本案件は、本格化する経済連携下にある南米南部諸国のうち、我が国とパートナーシップ協力を結んでいるアルゼンチン国を中心に、メルコスール経済圏において畜産業が盛んなボリビア国、パラグアイ国及びウルグアイ国を対象とするものである。

これら対象 4 カ国における家畜疾病対策上の主要な共通課題は、①教職・研究職志望者の養成を除いて、現職の獣医師への卒後教育制度がなく、そのため臨床現場の診断が科学的根拠によらない、個人の経験や主観に依存した診断に陥りがちであること、②疫学情報資源の作成・配信に係る技術、ネットワークが十分でなく、地域・国レベルの疾病対策に生産現場の情報が適切に反映されないことが挙げられている。

これまで我が国はアルゼンチン国の家畜衛生改善のため、ラ・プラタ大学に対する協力[*2]を通じ、個々の家畜を対象とする診断能力向上に係る成果[*3]を挙げてきた。しかしながら、習得した診断技術を全国の獣医師に広く普及し、生産現場レベルの診断能力を向上させるまでには至らなかった。また次のステップとして地域（県・州）や国レベルの総合的な疾病対策を行うには、個々の家畜ではなく家畜群を対象とし疾病の原因や発生条件を明らかにする、いわゆる「疫学」に関する情報資源の作成と配信が必要であり、このことが喫緊の課題となっている。

これらの課題解決の為には、「獣医師の卒後継続研鑽」及び「疫学部門の強化並びに当部門と臨床・ラボ部門との連携による重要家畜疾病防除体制の整備」が不可欠で、特に越境性のある家畜疾病を対象とする協力を効果・効率的に実施する場合、国際間の連携を強化する包括的対応が求められる。

*2 ①ラ・プラタ大学獣医学部研究計画（1989年から5カ年）、②同計画フォローアップ協力（1994年から2カ年）、③同計画アフターケア協力（2001年から2カ年）、④第三国研修「家畜疾病の診断と研究」（1996年から5かカ年）及び⑤同研修フェーズ2（2001年から5カ年）

*3 ラボ診断部門の強化（①、②）、臨床診断部門の強化（③）及び近隣諸国への診断技術普及（④、⑤）

（2） 相手国政府国家政策上の位置付け

以下の点から、家畜衛生の改善に資する本案件は対象 4 カ国の国家政策に合致すると考えられる。

アルゼンチン国政府は総輸出額の 4 割を占める農畜産業に関連する国家計画として、「家畜衛生計画」及び「食肉輸出計画」を策定し、衛生条件・品質の向上や国際市場アクセス改善等による畜産物の輸出促進を図っている。

ボリビア国政府は、近年「農業生産性向上」を農政の基本方針として打ち出している。国家開発計画においては、経済発展及び貧困撲滅の達成を目的に、農業分野における技術力向上等に重点を置いている。

パラグアイ国政府は、農畜産業に関する政策指針において生産関係者に対する技術指導及び情報提供等を重視している。その具体策の一つとして家畜衛生技術の研究・普及を推進している。

ウルグアイ国政府は農畜産物純輸出国として家畜生産・衛生を重視する政策を展開している。特

に近年の口蹄疫発生を契機として、家畜衛生計画や家畜群識別トレーサビリティ計画等の取り組みを開始している。

なお、アルゼンチン国は、1992年にアルゼンチン水平協力基金（FOAR）を設置し、他の中南米諸国への協力を重視しており、本案件はこの方向性にも沿ったものである。

（3） 我が国援助政策との関連、JICA 国別事業実施計画上の位置付け（プログラムにおける位置付け）

アルゼンチン国に関し、本案件は対アルゼンチン国 JICA 国別事業実施計画の援助重点分野の一つである「南南協力支援」プログラムに位置付けられる。中南米地域内で優位性を有する分野については、同国を南南協力の拠点とする事業の計画、実施を推進している。

ボリビア国に関し、本案件は対ボリビア国 JICA 国別事業実施計画の援助重点分野の一つである「農業を中心とした地域経済開発」プログラムに位置付けられる。また、対ボリビア国 JICA 国別援助研究会報告書は、同国の農畜産物輸出振興について、動植物検疫体制の整備や国家農牧衛生システムの組織強化に関し、さらなる支援の重要性を示している。

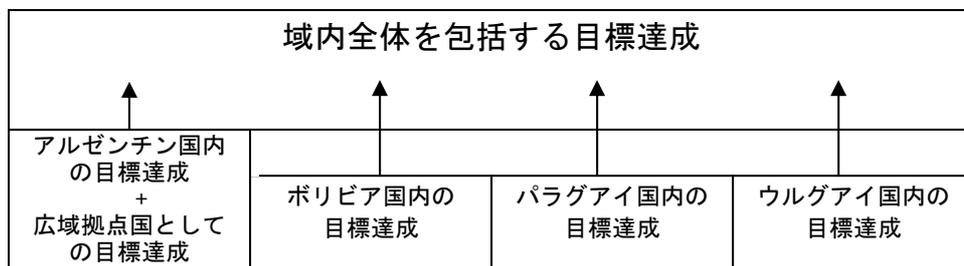
パラグアイ国に関し、本案件は対パラグアイ国 JICA 国別事業実施計画の「動植物検疫、産業規格検査・認証の技術向上・体制整備支援」プログラムに位置付けられる。

ウルグアイ国に関し、対ウルグアイ国別援助実施計画は策定されていないものの、当国が農牧業中心の国であるという観点から、我が国は同国に対して、当初より農林業分野を中心に協力を実施している。

なお、我が国は対中南米地域 ODA（政府開発援助）政策の重点課題として、「食料生産力維持向上」及び「域内協力促進と域内の地域統合化への対応」を挙げており、本案件は、係る課題解決を推進する協力として位置付けられる。

4. 協力の枠組み

本案件は、これまで我が国が対象 4 カ国で実施してきた協力 [*4] の成果をベースに、中でも協力資源の蓄積に富むアルゼンチン国を拠点とし、広域協力として実施する。対象 4 カ国について個々の目標（「サブプロジェクト目標」という）を設定し、それぞれの国毎の目標達成を目指し、そのうえで南米南部対象 4 カ国域内全体を包括するプロジェクト目標の達成を目指す（下図参照）。



なお、アルゼンチン国は広域拠点国としての機能を求められているため、他 3 カ国より達成目標が高レベルかつ広範囲となる。

*4 アルゼンチン国 [3 (1) 参照]、ボリビア国「家畜繁殖改善計画」（1987年から5カ年）、パラグアイ国「家畜繁殖改善計画」（1982年から5カ年）及びウルグアイ国「獣医研究所強化計画」（1996年から5カ年）等

〔主な項目〕

（1） 協力の目標

- ① 協力終了時の達成目標（広域プロジェクト目標）と指標
 （目標） 域内の家畜疾病診断に係る人材育成制度が確立され、人的連携及び診断・疫学情報の共有のネットワークが整備される。
 （指標） ①卒後研修を継続実施するための制度が策定され、運用される。
 ②獣医師データベースの登録者数、情報交換に係るアクセス数が年々増加する。
 ③情報ネットワークの登録者数、情報交換に係るアクセス数が年々増加する。
- ② 協力終了後に達成が期待される目標（上位目標）と指標・目標値
 （目標） 家畜疾病診断が域内（南米南部地域）で適正に行われる。
 （指標） ①適切な手法に基づく家畜疾病の診断件数が増加する。
 ②域内各国の疾病診断がプロジェクト策定のマニュアル、規定に基づいて実施される。
 ③マニュアルや規定に基づいて診断を行える獣医師が域内に必要数確保され、継続して診療に従事する。

(2) サブプロジェクト目標 [*5] と成果

*5 各国サブプロジェクトの指標における具体的数値は、第二次事前評価調査に先がけて実施された、各国対象のワークショップで作成された活動計画案に基づいて設定している。これらの数値及び具体的数値が与えられていない指標については、プロジェクト開始後に実施するベースライン調査に基づき、プロジェクト1年次終了までに見直し及び設定を行う。

2-1) アルゼンチン国

①サブプロジェクト目標：ラ・プラタ大学獣医学部に域内家畜衛生人材育成センターとしての機能が整備される。

（指標）： ・アルゼンチン国から各国に講師派遣される獣医師（M/M）が、年々増加する。

- ・人材育成の需要がプロジェクト開始時と比較して20%増加する。
- ・新たに修得した診断に関する技術・知見を利活用した研修活動実績が、年々増加する。
- ・広域中央ラボとしての期待される役割に沿った診断件数・研究報告論文数が、年々増加する。
- ・ラボの使用に際し生物安全に係る内規が策定され、遵守される。

②活動及びその成果：

成果 1. ラ・プラタ大学獣医学部教官の能力が向上する。

活動 1-1. 獣医学部教官が新研修コースを受講する。

1-2. 獣医学部教官が情報管理・発信のためのワーキンググループを結成し活動する。

指標 ・プロジェクト終了時において、新しい技術を習得した教官数がプロジェクト開始時点から増加する（数値は毎年の計画に基づいて決定される）。
 ・大学教官による研究報告、論文の数が毎年10%増加する。
 ・各国で開催される研修に派遣可能な講師の数が50%増加する（現在20名）。

成果 2. 南米南部地域の家畜衛生のために、国際基準に適合した診断・研究が実施できる環境がラ・プラタ大学に整備される。

活動 2-1. 既存のラボの機能を統合する。

2-2. 人材育成のため生物安全を考慮した中央ラボを整備する。

指標 ・プロジェクト終了時において、国際基準を考慮した中央ラボが整備される。

・プロジェクト終了時において、ラボ運営のために必要な人材が確保される（計画に基づいて人数が決定される）。

成果 3. 広域診断・疫学情報ネットワークが構築される。

活動 3-1. 域内国関係者と協力してネットワークの構築、運営規定を策定する。

3-2. ネットワークを運営する。

3-3. インターネットなどを活用し、構築されたネットワークを通じた情報交換を行う。

3-4. プロジェクトのウェブサイトを開設する。

3-5. プロジェクトの広報戦略を策定し、実施する。

指標 ・プロジェクト終了時点までに、関係する全ての機関でネットワークが適切に機能する。

ネットワーク形成後：

- ・ネットワークを通じて定期的にプロジェクト対象国の情報を集積する。
- ・ネットワークを通じて定期的に情報を発信する（ウェブサイトの更新、ニュースレターの発行）。
- ・プロジェクトウェブサイトのアクセス数が設置後、毎年10%ずつ増加する。

成果 4. 広域調整システムが確立される。

活動 4-1. 広域調整システムのための組織を構築する。

4-2. プロジェクト運営委員会（SC）を定期的に開催する。（プロジェクトの計画・実施・モニタリングを実施）

指標 ・定期的に開催されるプロジェクト運営委員会において、計画、実施、モニタリングの各段階で意思決定がなされる。

- ・決定プロセスが明確（透明性、公正性、納得性等）にされる。（例：広域研修参加者、広域研究参加者、広域研究テーマ等の決定）

成果 5. 広域研究グループが構成される。

活動 5-1. 域内共同研究活動を実施する。

5-2. 域内セミナーを開催する。

5-3. 研究報告書を発行する。

指標 ・プロジェクト3年目までに12の広域研究グループが設置される。

- ・プロジェクト終了時までに20の広域研究グループが設置される。

- ・作成した共同研究活動報告、共同研究報告の数が20となる。

- ・開催した共同セミナー数が4となる。

成果 6. 広域ネットワーク内で互換性のある大学卒業後教育システムが確立される。

活動 6-1. 共通の単位規定を制定する。

6-2. 共通の関心のある領域を決定する。

6-3. カリキュラムを策定する。

6-4. 卒業後教育コースを実施する。

指標 ・プロジェクト終了時までに2つの卒業後教育コースが実施される。

2-2) ボリビア国

①サブプロジェクト目標：ボリビア国における家畜疾病診断能力が向上する。

（指標）：①プロジェクト終了時、ガブリエル・レネ・モレノ大学のプロジェクト関連疾病の診断及び処理された検体数がプロジェクト開始時から100%増加する。

②ガブリエル・レネ・モレノ大学に關係する獣医師1人当たりの問い合わせ件数が毎年10%ずつ増加する。

③ボリビア国内のプロジェクトが対象とする家畜疾病の検体で検査する基準を満たさない不良数が1年目に比べて50%少なくなる。

②活動及びその成果

成果 1. ガブリエル・レネ・モレノ大学獣医学部教官の能力が向上する。

活動 1-1. 大学教官、研究所獣医師、現場（クリニック診断）獣医師に対する研修/教育コースを実施する。

1-2. 研究ネットワークを構成する。

1-3. OJT型研修を実施する。

1-4. 卒業後教育を実施する。

1-5. 大学獣医学部教官のリフレッシュ（ブラッシュアップ）研修コースの制度化を図る。

1-6. 大学教員のリフレッシュ（ブラッシュアップ）研修コースを実施する。

1-7. 現場における活動のプロセスマニュアルを作成し、関係者に指導する。

指標 ・プロジェクト終了時において、若手教官（全教官の50%を占める）を含め訓練を受けた教官数がプロジェクト開始時点から60%増加する。

- ・国内の獣医師に対して講義できる教官数がプロジェクト開始時点から30%増加する。

- ・プロジェクト 5 年目までに、プロジェクトを通じて設置された研究グループの数が 4 つになる。
- ・大学教官による、対象疾病に関する研究報告、論文の数が毎年 10%づつ増加する。

成果 2. 研究所 (LIDIVET) [*6] の獣医師の能力が向上する。

- 活動 2-1. 研究所の獣医師が教育コースに参加する。
 2-2. 研究所の獣医師が OJT 型教育を実施する。
 2-3. 研究所の獣医師が卒後教育に参加する。
 2-4. 研究所の獣医師が研究グループに参加する。

- 指標 ・ 訓練された研究所の獣医師の数がプロジェクト開始時点から 100%増加する。
 ・ 研究所の獣医師の研究グループへの参加者数がプロジェクト開始時から 20%増加する。
 ・ プロジェクト開始 2 年目から研究所獣医師による調査報告、研究報告、論文数が毎年 10%づつ増える。

*6 国家農牧衛生機構の下部組織として、ボリビア国における全家畜疾病のレファレンス・サービスを行っている、最上位の家畜衛生ラボである。

成果 3. 現場 (クリニック診断) の獣医師の能力が向上する。

- 活動 3-1. 現場の獣医師が教育コースに参加する。
 3-2. 現場の獣医師が OJT 型教育を実施する。
 3-3. 現場の獣医師が卒後教育に参加する。
 3-4. 現場の獣医師が研究グループへ参加する。

- 指標 ・ プロジェクト終了時に、訓練された現場 (クリニック診断) の獣医師の数が 200 名となる。
 ・ 現場 (クリニック診断) の獣医師の研究グループ参加数が、プロジェクト開始時から 4 名増加する。
 ・ 作成されたマニュアルの手順に従ってラボに持ち込む検体数が、全体の 70%以上になる。

成果 4. ボリビア国内のプロジェクトに関係するラボでの作業手順の適正化が図られる。

- 活動 4-1. ラボの施設改善を行う。
 4-2. ワークショップを開催する。
 4-3. 診断技術の定着を図る。

- 指標 ・ プロジェクト終了時に、関係する国内ラボ間において、診断検査手順の 60%が共用される。

成果 5. 広域診断・疫学情報ネットワークが構築される。

- 活動 5-1. 域内国関係者と協力して、域内獣医学部ラボネットワークの構造、運営規定を策定する。
 5-2. ネットワークに参加する。
 5-3. インターネットなどを活用し、構築されたネットワークを通じた情報交換を行う。

- 指標 ・ プロジェクト終了時点で、関連した機関間のネットワークが形成される。
 ・ プロジェクト終了時に、ネットワークに提供される情報が診断に有効なレベルとなる。

成果 6. 広域調整システムが機能する。

- 活動 6-1. 広域調整システムのための組織を構築する。
 6-2. プロジェクト運営委員会 (SC) に定期的に参加する。

- 指標 ・ 定期的に行われるプロジェクト運営委員会において、計画、実施、モニタリングの各段階で意思決定がなされる。
 ・ 決定プロセスが明確にされる (透明性、公正性、納得性等)。(例: 広域研修参加者、広域研究参加者、広域研究テーマ等の決定)

成果 7. 広域研究グループが構成される。

- 活動 7-1. 域内共同研究活動に参加する。
 7-2. 域内セミナーに参加する。

- 指標 ・プロジェクト3年目までに3つの広域共同研究グループに参加する。
・プロジェクト終了時までにはxx(数)の広域共同研究グループに参加する。
・広域共同研究活動数がxxとなる。
・広域共同セミナーに最低年一回以上参加する。
(上記xx部分はプロジェクト開始後に詳細を決定する)

2-3) パラグアイ国

①サブプロジェクト目標：パラグアイ国における家畜疾病診断能力が向上する。

- (指標)： ①プロジェクト終了時、プロジェクト関連疾病の診断及び処理された検体数がプロジェクト開始時点から50%増加する。
②パラグアイ国内の獣医師一人あたりの問い合わせ件数が50%増加する。
③パラグアイ国内の家畜疾病を特定する時間が短縮される。

②活動及びその成果：

成果 1. 国立アスンシオン大学獣医学部教官の能力が向上する。

- 活動 1-1. 大学教官、研究所獣医師、現場獣医師に対する研修/教育コースを実施する。
1-2. 研究ネットワークを構成する。
1-3. OJT型研修を実施する。
1-4. 卒後教育(大学院を含む)を実施する。

- 指標 ・プロジェクト終了時において、若手教官(全教官の50%を占める)を含め訓練を受けた教官数がプロジェクト開始時点から60%増加する。
・国内の獣医師に対して講義できる教官数がプロジェクト開始時点から30%増加する。
・大学教官による、対象疾病に関する研究報告、論文の数がプロジェクト開始時点から80%増加し、プロジェクトにおいて扱う疾病に関する研究報告、論文等が100%増加する。

成果 2. 研究所(SENACSA)[*7]の獣医師の能力が向上する。

- 活動 2-1. 研究所の獣医師が教育コースに参加する。
2-2. 研究所の獣医師がOJT型教育を実施する。
2-3. 研究所の獣医師が卒後教育に参加する。

- 指標 ・訓練された研究所(SENACSA)の獣医師の数がプロジェクト開始時点から30%増加する。
・研究所の獣医師による報告書発行数がxxになる。
・研究所ネットワークを通じて得られた情報数がxxとなる。
(上記xx部分はプロジェクト開始後に詳細を決定する)

*7 農牧大臣直属の試験研究機関であり、主要な法定家畜伝染病に係る防疫活動を担っている。

成果 3. 現場の獣医師の能力が向上する。

- 活動 3-1. 現場の獣医師が教育コースに参加する。
3-2. 現場の獣医師がOJT型教育を実施する。
3-3. 現場の獣医師が卒後教育に参加する。
3-4. 現場の獣医師が研究グループへ参加する。
3-5. 現場における活動のプロセスマニュアルを作成し、関係者に指導する。

- 指標 ・プロジェクト終了時に、訓練された現場の獣医師の数がプロジェクト開始時点から30%増加する。
・現場の獣医師の研究グループ参加数がxxになる。
・現場からの家畜疾病に関する通知報告数がxxになる。
・現場の獣医師からの情報の精度がアップする。
(上記xx部分はプロジェクト開始後に詳細を決定する)

成果 4. ラボでの作業手順の適正化が図られる。

- 活動 4-1. ワークショップを開催する。
4-2. 診断技術の定着を図る。

- 指標 ・プロジェクト終了時に、関係するラボ間において、診断検査手順の60%が共用される。

- 成果 5. 広域診断・疫学情報ネットワークが構築される。
- 活動 5-1 域内国関係者と協力して、域内獣医学部ラボネットワークの構造、運営規定を策定する。
- 5-2 ネットワークに参加する。
- 5-3 インターネットなどを活用し、構築されたネットワークを通じた情報交換を行う。
- 指標 ・プロジェクト終了時点で、関連した機関間のネットワークが形成される。
- ・プロジェクト終了時に、ネットワークに提供される情報が診断に有効なレベルとなる。
- 成果 6. 広域調整システムが機能する。
- 活動 6-1. 広域調整システムのための組織を構築する。
- 6-2. プロジェクト運営委員会（SC）に定期的に参加する。
- 指標 ・定期的開催されるプロジェクト運営委員会において、計画、実施、モニタリングの各段階で意思決定がなされる。
- ・決定プロセスが明確にされる（透明性、公正性、納得性等）。（例：広域研修参加者、広域研究参加者、広域研究テーマ等の決定）
- 成果 7. 広域研究グループが構成される。
- 活動 7-1. 域内共同研究活動に参加する。
- 7-2. 域内セミナーに参加する。
- 指標 ・プロジェクト3年目までに3つの広域共同研究グループに参加する。
- ・プロジェクト終了時までxx（数）の広域共同研究グループに参加する。
- ・広域共同研究活動数がxxとなる。
- ・広域共同セミナーに最低年一回以上参加する。
- （上記xx部分はプロジェクト開始後に詳細を決定する）

2-4) ウルグアイ国

①サブプロジェクト目標： ウルグアイ国における家畜疾病診断能力が向上する。
 (指標)： プロジェクト終了時、プロジェクト関連疾病の診断及び処理された検体数がプロジェクト開始時点から50%増加する。

②活動及びその成果：

- 成果 1. 共和国大学獣医学部教官の能力が向上する。
- 活動 1-1. 研修コースを実施する。
- 1-2. 研究ネットワークを構成する。
- 1-3. OJT型研修を実施する。
- 1-4. 大学院教育を実施する。
- 指標 ・プロジェクト終了時において、20%の若手教官を含め訓練を受けた教官数がプロジェクト開始時点から60%増加する。
- ・国内の獣医師に対して講義できる教官数がプロジェクト開始時点から30%増加する。
- 成果 2. 研究所（DILAVE）[*8]の獣医師の能力が向上する。
- 活動 2-1. 研究所の獣医師が研修コースに参加する。
- 2-2. 研究所の獣医師がOJT型研修を実施する。
- 2-3. 研究所の獣医師が大学院の再教育に参加する。
- 2-4. 研究所の獣医師が研究グループに参加する。
- 2-5. 研究ネットワークの構築を行う。
- 指標 ・訓練された研究所の獣医師の数がプロジェクト開始時点から40%増加する。
- ・プロジェクトにおける、調査報告、研究報告、論文等に参加する研究所獣医師の数が40%増加する。

*8 農牧省傘下の研究機関であり、職員の中には共和国大学獣医学部教官を兼務する者も数多い。

- 成果 3. 現場の獣医師の能力が向上する。
- 活動 3-1. 現場の獣医師に研修コースを実施する。
- 3-2. 現場の獣医師がOJT研修を実施する。

3-3. 現場の獣医師に卒後教育を実施する。
3-4. 現場の獣医師が研究グループに参加する。
3-5. 現場における活動のプロセスマニュアルを作成し、関係者に指導する。
指標 ・プロジェクト終了時に、訓練された現場の獣医師の数がプロジェクト開始時点から 30% 増加する。
・現場獣医師の研究グループ参加数が 30%増加する。

成果 4. ラボでの作業手順の適正化が図られる。
活動 4-1. 業務改善ワークショップを開催する。
4-2. 診断技術の応用を促進する。
4-3. 域内の他のラボと共同し、プロセスマニュアルを作成する。
4-4. プロセスマニュアルを発行し、普及する。
指標 ・プロジェクト終了時に関係する研究所において、60%の診断検査手順が共用される。

成果 5. 広域診断・疫学情報ネットワークが構築される。
活動 5-1. ネットワークに参加する。
5-2. インターネットなどを活用し、構築されたネットワークを通じた情報交換を行う。
指標 ・プロジェクト終了時点で、全ての研究所間のネットワークが形成される。

成果 6. 広域調整システムが確立される。
活動 6-1. 広域調整システムのための組織を構築する。
6-2. プロジェクト運営委員会 (SC) に定期的に参加する。
指標 ・定期的に開催されるプロジェクト運営委員会において、計画、実施、モニタリングの各段階で意思決定がなされる。
・決定プロセスが明確にされる (透明性、公正性、納得性等)。(例：広域研修参加者、広域研究参加者、広域研究テーマ等の決定)

成果 7. 広域研究グループが構成される。
活動 7-1. 域内共同研究活動を実施する。
7-2. 域内セミナーを開催する。
7-3. 研究報告書を発行する。
指標 ・プロジェクト3年目までに3つの共同研究グループが設置される。

(3) 投入 (インプット)

- ① 日本側 (総額 3 億円)
長期専門家 (7,200 万円)
「疫学情報資源整備／プロジェクト運営管理」×1名×5 年
短期専門家 (5,500 万円)
PCM 手法及び第三国専門家の投入が困難な診断技術分野×毎年度若干名×1 月×5 年
第三国専門家 (2,000 万円)
アルゼンチン国及びウルグアイ国より診断技術研修の講師派遣×2名×3 月×5 年
研修員 (3,300 万円)
協力対象 4 国からの受け入れ×毎年度若干名×1 月×5 年
供与機材 (4,000 万円)
現地業務費等 (8,000 万円)
- ② アルゼンチン国側
カウンターパート配置、施設・土地提供、研修実施に係る費用その他
- ③ ボリビア国側
カウンターパート配置、施設・土地提供、研修実施に係る費用その他
- ④ パラグアイ国側
カウンターパート配置、施設・土地提供、研修実施に係る費用その他
- ⑤ ウルグアイ国側
カウンターパート配置、施設・土地提供、研修実施に係る費用その他

(4) 外部要因（満たされるべき外部条件）

- ①大きな伝染病が発生しない。
- ②国家におけるプロジェクトの位置付けが変更されない。
- ③訓練された獣医師が定着する。
- ④関係機関の予算が継続的に確保される。

5. 評価5項目による評価結果

以下の視点から評価した結果、協力の実施は適切と判断される。

(1) 妥当性

この案件は以下の点から実施の妥当性があると考えられる。

- 本案件の対象4カ国において、畜産業は重要な産業で社会経済に与える影響が大きいため、いずれの国においても家畜衛生の分野は政策的に重要な位置を占めている。また、域内の共通疾病の発生・流行は当該国だけに留まらず国際問題に発展しうるため、疾病対策は域内の共通課題との認識が高い。本案件は、この共通の課題に広域的に対応するものである。
- 南米地域においては、域内協力の促進、域内統合化への対応が我が国の協力の柱となっている。本案件はアルゼンチン国を核とした南南協力を活用し、広域的に協力を実施するものであり、この我が国の協力の柱に合致している。また対象4カ国に対するJICAの援助重点分野及び協力の方向性にも合致している。
- 域内の共通疾病のリスクを軽減するためには、現場の獣医師の診断能力の低さは大きな課題として指摘されており、現場の獣医師の再教育というアプローチは適切であると判断される。
- 我が国には、近年の自由貿易の進展から、動物性食品の安全性確保や人獣共通感染症の制圧に関連する分野に従事する獣医師の養成に特化した専門職大学院が設置されている。また大学、研究機関や獣医師会が主催する、現職獣医師に対する多様な研修や専門医認定制度が設定されている。このような獣医師の卒後継続研鑽に係る我が国の知見・経験が本案件に利活用しうると考えられる。

(2) 有効性

以下の点から、案件の有効性が確認される。

- 本案件の立案にあたり、アルゼンチン国ラ・プラタ大学をはじめとした各国の大学及び関係機関は、事前評価調査段階から議論を重ねている。関係者のプロジェクト実施への関心の度合いは高く、プロジェクト開始後も関係者の連携協調体制は維持される可能性が高い。
- 本案件では対象4カ国に対し家畜衛生人材の育成に係る個々の目標を設定し、またアルゼンチン国には拠点国として、広域連携の整備に係るより高水準の目標を別途課している。広域案件のプロジェクト目標を達成するために、必要な協力の枠組みが構築されている。
- 各国のサブプロジェクト目標を達成するために、それぞれの協力活動及びその成果が過不足なく設定されている。アルゼンチンの「ラ・プラタ大学獣医学部に域内家畜衛生人材育成センターとしての機能整備」というサブプロジェクト目標に対しては、育成センター運営を担う人材と環境の整備という国内の基盤強化の面と、広域調整システムの確立等などの国際的基盤強化という双方の整備、強化を行うことが必要である。本案件はその双方の要素に働きかけることによりアルゼンチンのサブプロジェクト目標の達成をより確実なものとしている。また、ボリビア、パラグアイ、ウルグアイの「家畜疾病診断能力の向上」というサブプロジェクト目標に

対しては、大学、研究所、現場のそれぞれの獣医師の能力向上という個人・組織の能力向上のみならず、広域協力を通じて国レベルの能力向上が必要である。本案件はその双方に働きかける計画であり、それぞれの国のサブプロジェクト目標達成を確実なものとしている。

- 本案件では、裨益対象者に大学教官から生産現場の獣医師まで多様な人材を設定しており、これは各診断段階の技術を強化する方策として適切な方法と考えられる。
- 将来的に南米南部地域における畜産業の社会経済的重要性の大幅な変化が考えにくいため、当該産業に資する家畜衛生の政策的位置付けが変わらないことが見込まれ、案件の外部条件が満たされる可能性は高い。

(3) 効率性

以下の点から、効率的な案件の実施が可能と考えられる。

- 広域協力の拠点となるアルゼンチン国ラ・プラタ大学を筆頭に対象 4 カ国の家畜衛生・生産関係機関には、我が国の技術協力によって育成された人材を有する。これら既存の協力資源を有効に活用することにより、プロジェクト活動を効率的に行うことが期待できる。
- 機材についても、これまでの協力により供与された施設、機材を活用することを原則としている。国際基準に適合した診断・研究に向けた環境整備は、既存ラボに対しての生物安全上の配慮及び未整備ラボに対しての必要最低限の投入とし、大がかりな施設、機材投入はない。本案件実施により、これまでに供与された施設、機材の稼働率が高まる。
- 本邦からの長期派遣専門家は疫学情報資源整備とプロジェクト運営管理の分野を兼任する一名とし、その投入を最小限に抑えて実施する。

(4) インパクト

この案件のインパクトは以下のように予測できる。

- 情報ネットワーク上には、プロジェクト策定の診断マニュアル・研修教材のライブラリや疫学情報データベースを設置し、適正診断に資する科学的根拠を提供する。また、類似の症例を経験する獣医師等に意見を仰ぐためのメーリングリスト等を開設する。情報ネットワークの構築により、本来の裨益対象者たる「診断を行う獣医師」のみならず、行政、試験研究機関に所属する獣医師や域内の家畜生産者に対しても広く便益が及ぶことが期待できる。
- インターネット利用による情報ネットワークの構築は、域外国からのアクセスをも可能にし、他中南米諸国の関心の度合いを高め、将来的に対象 4 カ国以外の国に「根拠に基づく適正診断の考え方」が波及する可能性は高い。
- 本案件で実施される研修による人的交流が促進され、さらに構築される情報ネットワークを活用して日頃から各国との密な連携を取り、情報を共有することは、疾病発生時における共同での対策を円滑に実施できる可能性が高まる。
- 上位目標である「域内の診断適正化」は、診断に資する科学的根拠を継続して公開し、情報の刷新をも併せて行うネットワーク体制を整備すること及び域内の疾病リスク軽減には診断法の共通化が一定程度必要であり、そのための卒後研鑽を域内各国が協調して継続する見込みが高いことから、プロジェクト終了後、数年内に実現できる可能性が高い。

(5) 自立発展性

本案件の自立発展性は、以下のとおり予測される。

- アルゼンチン国教育科学技術省は、本案件の重要性を十分に認識し積極的に支援する意向である。本案件活動の一つである卒後研修に関し、プロジェクト終了後にも継続できるよう制度化を検討している。将来は、他の中南米諸国へも研修参加を拡大したいとの意欲を示していることから、終了後も、支援が得られる可能性は高い。
- アルゼンチン国ラ・プラタ大学は、本案件を学内の最優先プロジェクトと位置付け、獣医学部本体の通常予算とは別途の予算計上を決定している。また教育省に特別の予算措置を要請していることから、同国における自立発展性は高い。しかしながらラ・プラタ大学を除く各国大学の予算は総じて少なく、継続的な注視が必要である。
- 協力相手先機関たる各国の大学獣医学部は、家畜衛生の重要性が高い南米南部地域において、当該分野の教育・研究・普及を担う主体機関として重要な役割を担っており、これら機関の恒久的な存続がほぼ保障されていると考えられる。また、大学教官の定着状況は一般に良好であることから、移転された技術の定着の度合いは高いと考えられる。
- 南米南部地域の獣医学関係者間には、既に人的ネットワークが存在する。また、プロジェクトにより構築する情報ネットワークに対しては、ラ・プラタ大学をモデレータとする維持管理を予定しており、プロジェクト終了後もその運用は継続的に実施される。

6. 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

研修コース参加者の選抜にあたっては、各所属先ないし各国全体の獣医師の男女比を勘案し、ジェンダー・バランスに留意する。

アルゼンチン国ラ・プラタ大学で実施する、生物安全を考慮した中央ラボの整備では人体へのリスク軽減とともに、廃棄物の処理等に関し、環境や生態系への配慮も十分に盛り込む。

7. 過去の類似案件からの教訓の活用

平成 13 年 12 月から 5 年間の予定で実施されている「タイ及び周辺国における家畜疾病防除計画」では、①越境性疾病対策に係る国際的な枠組みに基づく行政的な対応強化、②各国が有する技術・人的資源の広域的な活用及び③技術情報の共有による疾病情報の相互信頼性の向上を活動の柱としている。本広域協力では実施機関が大学であることから、上記②、③の観点による活動が主体になると考えられ、タイの先行事例を活用する。特に、協力資源の効果効率的な配分を考慮した研修の企画立案、情報共有の具体的方法等を参考にする。

8. 今後の評価計画

案件実施期間の中間期に中間評価、案件開始より 4 年が経過した段階で終了時評価を実施する。また、案件終了後 3 年を目途に事後評価を実施する。

2005年7月署名

RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE ARGENTINE REPUBLIC ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE PROJECT OF THE CAPACITY DEVELOPMENT FOR IMPROVEMENT OF
LIVESTOCK HYGIENE IN THE SOUTHERN PART OF
SOUTH AMERICA THROUGH REGIONAL TECHNICAL COOPERATION

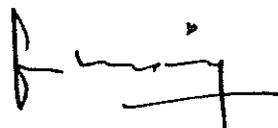
The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") through its Resident Representative in Argentina, exchanged views and had a series of discussions with the Argentine authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Government of the Argentine Republic for the successful implementation of the Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation.

As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Argentine Republic, signed in Tokyo on October 11, 1979 (hereinafter referred to as "the Agreement"), JICA and the Argentine authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Buenos Aires, July 7th, 2005



Mr. Masao TAKAI
Resident Representative in Argentina
Japan International Cooperation Agency
Japan



Arq. Gustavo A. Azpiazu
President
National University of La Plata
The Argentine Republic



THE ATTACHED DOCUMENT

I. BILATERAL COOPERATION BETWEEN JICA AND THE GOVERNMENT OF THE ARGENTINE REPUBLIC

1. The Government of the Argentine Republic will implement the Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I.

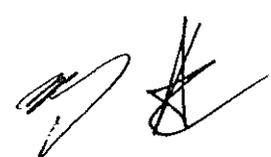
II. REGIONAL TECHNICAL COOPERATION

1. The Government of the Argentine Republic and JICA will jointly implement the Project in the scope of the Master Plan.
2. The Argentine Republic, as a core country, will play a leading role in extending the outputs of the Project as well as the achievements of the past Argentina-Japan Technical Cooperation implemented in the sector of livestock hygiene into the neighbouring countries such as the Republic of Bolivia, the Republic of Paraguay and the Oriental Republic of Uruguay.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. **DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS**
JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in ANNEX II. The provisions of Article VI of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts.
2. **PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT**
JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The provisions of Article VII of the Agreement will be applied to the Equipment.
3. **TRAINING OF ARGENTINE PERSONNEL IN JAPAN**
JICA will receive the Argentine personnel connected with the Project for technical training in Japan.



IV. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE ARGENTINE REPUBLIC

1. The Government of the Argentine Republic will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of the Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of the Argentine Republic will ensure that the technology and knowledge acquired by the Argentine nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Argentine Republic.
3. In accordance with the provisions of Article VI of the Agreement, the Government of the Argentine Republic will grant in the Argentine Republic privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in III-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article VII of the Agreement, the Government of the Argentine Republic will take necessary measures to receive and use the Equipment provided by JICA under III-2 above and machinery, equipment, and other materials carried in by the Japanese experts referred to in III-1 above.
5. The Government of the Argentine Republic will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Argentine personnel from the technical training in Japan will be effectively utilized in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provisions of Article V of the Agreement, the Government of the Argentine Republic will provide the services of Argentine counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX IV.
7. In accordance with the provisions of Article V of the Agreement, the Government of the Argentine Republic will provide the buildings and facilities as listed in ANNEX V.
8. In accordance with the laws and regulations in force in the Argentine Republic, the Government of the Argentine Republic will take necessary measures to supply or replace, at its own expense, machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA under III-2 above.
9. In accordance with the laws and regulations in force in the Argentine



Republic, the Government of the Argentine Republic will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

V. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The President of National University of La Plata, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. The Dean of Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese expert in charge of Project Management will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Argentine counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established, the functions and composition of which are described in ANNEX VI.

VI. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be jointly conducted by JICA and the Argentine authorities concerned, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievements.

VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provisions of Article VIII of the Agreement, the Government of the Argentine Republic undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or in connection with the discharge of their official functions in the Argentine Republic except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be a mutual consultation between JICA and the Government of the Argentine Republic on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

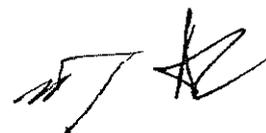
IX. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among Argentine nationals, the Government of the Argentine Republic will take appropriate measures to make the Project widely known to Argentine nationals.

X. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five years from August 1st, 2005.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV LIST OF ARGENTINE COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE



ANNEX I MASTER PLAN

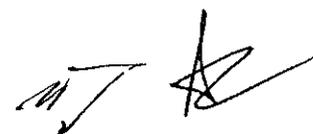
A. BILATERAL COOPERATION BETWEEN JICA AND THE ARGENTINE REPUBLIC

1. Objectives of the Project

- (1) Overall Goal
Proper veterinary diagnosis is provided in the southern part of South America.
- (2) Project Purpose (at a Regional Level)
A system for continuing professional development in veterinary diagnosis is established. Both networks of cooperation in human resources and of sharing diagnostic and epidemiological information are developed.
- (3) Subproject Purpose (at a National Level)
The capacity of the Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata (Facultad de Ciencias Veterinarias, Universidad Nacional de La Plata; FCV-UNLP) is strengthened as the Veterinary Centre for Continuing Professional Development in the Southern Part of South America.

2. Outputs and their Activities of the Project

- (1) The capacity of teaching staff in the FCV-UNLP is improved.
 - 1-1 The teaching staff take courses of new techniques (e.g. diagnosing, statistical/ risk analysis, GIS and etc.).
 - 1-2 The teaching staff form a working group for information management and operate it.
- (2) The environment for diagnosis and research in the FCV-UNLP is improved to meet international standards for better livestock hygiene in the southern part of South America.
 - 2-1 To integrate the functions of the existent laboratories in the FCV-UNLP.
 - 2-2 To improve the central laboratory in biosafety for human resource development.
- (3) Regional network of diagnostic and epidemiological information is developed.
 - 3-1 To establish a regulation of the regional network with the collaboration of the participating countries.
 - 3-2 To administrate the network.
 - 3-3 To exchange information through the network utilizing the Internet.
 - 3-4 To set up a Project website.
 - 3-5 To formulate and conduct a strategy for Project publicity.
- (4) Regional coordination system is established.
 - 4-1 To foster institutionalization for the regional coordination system.



4-2 To hold a regular meeting of the Project Steering Committee (SC).

(5) Regional research groups are formed.

5-1 To undertake a joint research in the region.

5-2 To hold a joint seminar in the region.

5-3 To publish a research paper.

(6) A system under mutual recognition for continuing professional development is established in the regional network.

6-1 To establish a regulation for credit transfer.

6-2 To determine mutual interested areas in the regional network.

6-3 To formulate a curriculum.

6-4 To conduct a course of the continuing professional development.

3. Project Site

Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata

B. REGIONAL TECHNICAL COOPERATION

1. Objectives of the Project

Refer to the A. 1. (1) and (2).

2. Outputs of the Project (equivalent to the Subproject Purposes for each of the participating countries)

(1) Refer to the A. 1. (3).

(2) The capacity of diagnosis for livestock diseases is improved in Bolivia.

(3) The capacity of diagnosis for livestock diseases is improved in Paraguay.

(4) The capacity of diagnosis for livestock diseases is improved in Uruguay.

3. Activities of the Project

Refer to the PDMs for each of the participating countries.

4. Target Area

Four countries (Argentina, Bolivia, Paraguay and Uruguay) in the region

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS AND THEIR DUTIES

1. Long-term Expert

Epidemiological Information Resource Management/ Project Management

To give technical advice and support in the field of epidemiological information resource management.

To coordinate administrative and managerial matters of the Project activities, and monitor the progress of the Project.

To provide necessary recommendations and advice to the Project Director, Project Manager, Coordinators and related authorities on any matters pertaining to the Project.

2. Short-term Expert(s)

Short-term Expert(s) will be dispatched, when necessity arises, according to the requirements established within the framework of the Project.

(1) Project Cycle Management (PCM) Training

(2) Expert(s) in a particular area of diagnostics when proper third-country expert(s) from Argentina and Uruguay cannot be recruited.

Notes: The fields, number and terms of assignment of short-term experts will be decided in consideration of the progress of the Project through mutual consultations including the Joint Coordinating Committee in each Japanese fiscal year.

ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Machinery, equipment and any other materials necessary for the effective implementation of the Project will be provided by JICA within budgetary limitations.



ANNEX IV LIST OF ARGENTINE COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Counterpart Personnel

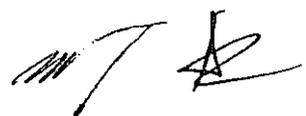
- (1) Project Director:
President of National University of La Plata
 - (2) Project Manager:
Dean of Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata
 - (3) Counterparts*
 - 1) General Coordinator
 - 2) Coordinator for Bolivia
 - 3) Coordinator for Paraguay
 - 4) Coordinator for Uruguay
 - 5) Suitably qualified counterpart personnel shall be assigned continuously in the fields related to the activities of Japanese Experts as specified in ANNEX II.
- * Country Coordinators of Bolivia, Paraguay and Uruguay are assigned from each of the three countries.

2. Administrative Personnel

- (1) Administrative Staff
- (2) Secretaries/ Typists
- (3) Drivers
- (4) Other necessary support staff

ANNEX V LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land, buildings and facilities necessary for the Project
2. Rooms and space necessary for installation and storage of the equipment
3. Office space and necessary facilities for the experts
4. Electricity, water supply and necessary telecommunication facilities including telephone, facsimile and e-mail services
5. Other facilities mutually agreed upon, if necessary

A handwritten signature in black ink, consisting of several stylized, overlapping strokes.

ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

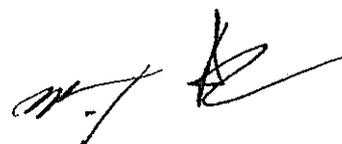
1. Function

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever the necessity arises in order to fulfill the following functions:

- (1) To formulate the Annual Work Plan under the framework of the Record of Discussions
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation program in accordance with the Annual Work Plan of the Project
- (3) To review those measures taken by JICA:
 - 1) Dispatch of Japanese experts
 - 2) Acceptance of Argentine counterpart personnel in Japan and third countries for training
 - 3) Provision of machinery and equipment
- (4) To review those measures taken by the Government of the Argentine Republic:
 - 1) Allocation of necessary budget (including local cost expenditures)
 - 2) Allocation of necessary counterpart personnel
 - 3) Utilization and administration of machinery and equipment provided by the Government of Japan
- (5) To make recommendations to the respective Governments on:
 - 1) Budgetary matters
 - 2) Recruitment and appointment of Argentine counterpart personnel
 - 3) Selection and effective utilization of machinery and equipment
 - 4) Appropriate dispatch of Japanese experts
 - 5) Acceptance of Argentine counterpart personnel in Japan and third countries for training
- (6) Other matters when required

2. Committee Composition

- (1) Chairperson:
President of National University of La Plata as the Project Director
- (2) Members:
 - 1) Argentine side
 - a. Dean of Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata as the Project Manager
 - b. General Coordinator
 - c. Coordinator for Bolivia
 - d. Coordinator for Paraguay
 - e. Coordinator for Uruguay
 - 2) Bolivian side
 - a. Country Coordinator of Bolivia
 - 3) Paraguayan side
 - a. Country Coordinator of Paraguay

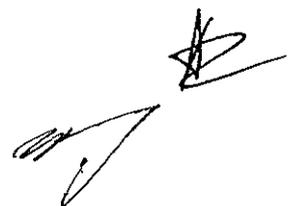


- 4) Uruguayan side
 - a. Country Coordinator of Uruguay

- 5) Japanese side
 - a. Experts assigned to the Project
 - b. Other Japanese experts and personnel concerned dispatched by JICA
 - c. Representative of JICA Argentina Office

Notes: Officials of the Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee meeting as observers.

Persons designated by the Chairperson may attend the Joint Coordinating Committee meeting.

A handwritten signature in black ink, consisting of several loops and a long horizontal stroke at the end.

3. アルゼンチン国ミニッツ

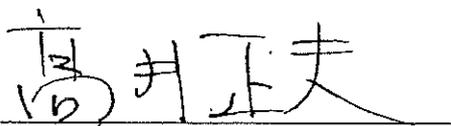
2005年7月署名

MINUTES OF MEETING BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE ARGENTINE REPUBLIC ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE PROJECT OF THE CAPACITY DEVELOPMENT FOR IMPROVEMENT OF
LIVESTOCK HYGIENE IN THE SOUTHERN PART OF
SOUTH AMERICA THROUGH REGIONAL TECHNICAL COOPERATION

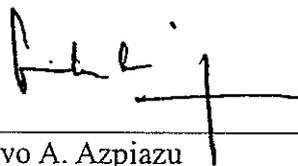
The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") had further discussions with the Argentine authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Government of the Argentine Republic for the successful implementations of the Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation.

As a result of the discussions, JICA and the Argentine authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto. These Minutes of Meeting are considered as a supplement document of the Record of Discussions signed on the same date.

Buenos Aires, July 7th, 2005



Mr. Masao TAKAI
Resident Representative in Argentina
Japan International Cooperation Agency
Japan



Arq. Gustavo A. Azpiazu
President
National University of La Plata
The Argentine Republic



THE ATTACHED DOCUMENT

I. PROJECT DESIGN MATRIX

The Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") specifies the objectives, outputs and activities of the Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation (hereinafter referred to as "the Project"), and it is used for monitoring and evaluation of the Project activities and achievements. The PDM may be modified upon the approval of the Joint Coordinating Committee within the framework of the Record of Discussions as necessary in accordance with the progress of the Project. The PDM is given in ANNEX I and II.

II. PLAN OF OPERATIONS

JICA and the Argentine authorities concerned have jointly formulated the Plan of Operations shown as ANNEX III. The Plan of Operations may be modified with the same manner as the PDM above.

III. STEERING COMMITTEE

For the effective and successful implementation of the Project, a Steering Committee will be established that functions and composition are described in ANNEX IV.

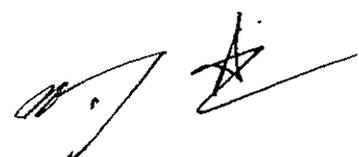
IV. BUDGET ALLOCATION TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE ARGENTINE REPUBLIC

The Argentine side will secure the budget for the following items and be expected to take necessary measures ensuring the self-reliant operation of the Project during and after the period of Japanese technical cooperation.

1. Expenses necessary for domestic transportation of the equipment provided through JICA under the Project in the Argentine Republic, as well as for installation, operation and maintenance.
2. Expenses necessary for customs, duties, internal taxes and other charges imposed on the equipment provided through JICA under the Project in the Argentine Republic.
3. Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the Project, other than the equipment provided through JICA under the Project.
4. Running expenses necessary for the smooth implementation of the Project.



ANNEX I	PROJECT DESIGN MATRIX (PDM; GENERAL VERSION)
ANNEX II	PROJECT DESIGN MATRIX (PDM; ARGENTINA VERSION)
ANNEX III	PLAN OF OPERATIONS
ANNEX IV	STEERING COMMITTEE

A handwritten signature in black ink, consisting of a stylized first name and a last name with a star-like symbol above it.

ANNEX I

PDM GENERAL Ver. 1.0

Project Title: The Project for the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation
 Target Area: Argentina, Bolivia, Paraguay and Uruguay
 Term of Cooperation: August 1st, 2005 to July 31th, 2010
 Target Group: Teaching staff of the Faculty of Veterinary Sciences, laboratory veterinarians and field veterinarians in the target area
 Creation Date: June 2005

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p><u>Overall Goal</u> Proper veterinary diagnosis is provided in the southern part of South America.</p>	<ol style="list-style-type: none"> The number of the proper diagnosing cases of livestock diseases increases. The procedures of diagnosis of animal diseases in the region are undertaken into practice based on the project-formulated manuals and guidelines. The necessary number of veterinarians, able to diagnose based on the project-formulated manuals and guidelines, is secured and they engage in veterinary practice continuously. 	<ol style="list-style-type: none"> SENASA reports and the reports of related organisations Monitoring reports Monitoring reports, laboratories' records and SENASA reports 	No outbreak of serious animal diseases appears.
<p><u>Project Purpose</u> A system for continuing professional development in veterinary diagnosis is established. Both networks of cooperation in human resources and of sharing diagnostic and epidemiological information are developed.</p>	<ol style="list-style-type: none"> A system for the ongoing implementation of the continuing professional development is established and operated. The enrolment of the Veterinarian Database and the traffic to the database for information exchange increase year by year. The enrolment of the Information Network and the traffic to the network for information exchange increase year by year. 	<ol style="list-style-type: none"> Monitoring reports Analysis results of the website traffic Analysis results of the website traffic 	Policy priority of the government for the Project is not changed.
<p><u>Outputs: equivalent to the Subproject Purposes</u> for each of the participating countries Refer to the PDMs for each of the participating countries.</p>			
<p><u>Activities</u> Refer to the PDMs for each of the participating countries.</p>	<p><u>Inputs</u> Refer to the PDMs for each of the participating countries.</p>		<p><u>Pre-conditions</u> Refer to the PDMs for each of the participating countries.</p>

ANNEX II

Project Title: The Project for the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation
Project Site: Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata (Facultad de Ciencias Veterinarias, Universidad Nacional de La Plata; FCV-UNLP)
Target Area: Argentina
Target Group: Teaching staff of the Faculty of Veterinary Sciences, laboratory veterinarians and field veterinarians in the target area
Term of Cooperation: August 1st, 2005 to July 31th, 2010
Creation Date: June 2005

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p><u>Overall Goal</u> Refer to the PDM GENERAL VERSION.</p> <p><u>Project Purpose</u> (at a Regional Level) Refer to the PDM GENERAL VERSION.</p> <p><u>Subproject Purpose</u> (at a National Level) The capacity of the FCV-UNLP is strengthened as the veterinary centre for continuing professional development in the southern part of South America.</p>	<ol style="list-style-type: none"> The number (or man-month) of veterinarians as a seminar trainer dispatched from Argentina to the other participating countries increases year by year. In comparison with the initial period of the Project, the demand for human resource development increases by 20 %. The performance in seminar activities utilizing newly acquired technology and knowledge in diagnosis increases year by year. Fitting in the expected roles as a regional central laboratory, the number of the diagnosing cases and of the related research reports increase year by year. The compliance program on biosafety in the laboratory is made and kept. 	<ol style="list-style-type: none"> Monitoring reports and minutes of the Project Steering Committee Proposals and the initial plans from each participating country, country coordinators' reports Monitoring reports, seminar trainers' reports and the results of trainees' questionnaires Faculty's annual report and research reports The compliance program and faculty's annual report 	<p>Policy priority of the government for the Project is not changed. The Project budget of each institution is maintained. Trained personnel continue working for their institutions.</p>
<p><u>Outputs</u> 1. The capacity of teaching staff in the FCV-UNLP is improved.</p>	<ol style="list-style-type: none"> In comparison with the initial period of the Project, the number of teaching staff, acquiring new techniques, is increased at the final period of the Project (the number should be determined by annual plans). The number of research papers by the teaching staff increases by 10% year by year. In comparison with the initial period of the Project, the number of as possible candidate as a seminar trainer dispatched to the other participating countries increases by 50 % (now 20 persons). 	<ol style="list-style-type: none"> Lists of participants and completions Faculty's annual report Lists of the third country experts (The Argentine MOFA and JICA) 	<p>Policy priority of the government for the Project is not changed. The Project budget of each institution is maintained. Trained personnel continue working for their institutions.</p>

<p>2. The environment for diagnosis and research in the FCV-UNLP is improved to meet international standards for better livestock hygiene in the southern part of South America.</p>	<p>1. The central laboratory is improved to meet international standards by the end of the Project. 2. The necessary human resource for the laboratory management is secured by the end of the Project (the number of the person should be determined by plans). 1. The network is wholly developed among the participants in the Project by the end of the Project. 2. After the formulation of the network; The data of the participating countries is collected regularly through the network. 3. Information is regularly provided through the network with renewal of the Project website and sending a newsletter) 4. The website traffic increases by 10% year by year.</p>	<p>1. Monitoring reports 2. Lists of the faculty staff</p>	
<p>3. Regional network of diagnostic and epidemiological information is developed.</p>	<p>1. Decisions on planning, implementing and monitoring are made in the Steering Committee meeting. 2. The decision making process on training participants, research participants and research themes is clear in transparency, fairness, reasonableness and etc.</p>	<p>1. Monitoring reports 2. Minutes of the Project Steering Committee 3. The publication record of the newsletter and the results of users' questionnaires 4. Analysis results of the website traffic</p>	
<p>4. Regional coordination system is established.</p>	<p>1. 12 research groups are formed by the third year of the Project. 2. 20 research groups are formed by the end of the Project. 3. 20 research reports are published. 4. Four joint seminars are held.</p>	<p>1. Monitoring reports, minutes of the Project Steering Committee, country coordinators' reports, and experts' reports 2. Monitoring reports, minutes of the Project Steering Committee, country coordinators' reports, and experts' reports</p>	
<p>5. Regional research groups are formed.</p>	<p>1. Two courses are implemented by the end of the Project.</p>	<p>1. Monitoring reports, research papers and faculty's annual reports 2. Monitoring reports, research papers and faculty's annual reports 3. Monitoring reports, research papers, theses and faculty's annual reports 4. Monitoring reports, joint seminar reports and seminar resumes 1. The course curriculum, and agreement among the participating universities</p>	
<p>6. A system under mutual recognition for continuing professional development is established in the regional network.</p>	<p><u>Inputs</u> Japan 1. Personnel: Long-term experts and Short-term experts 2. Equipment 3. Counterpart training 4. Project management cost</p>		
<p><u>Activities</u> 1. [The capacity of teaching staff in the FCV-UNLP is improved.] 1-1. The teaching staff take courses of new techniques (e.g. diagnosing, statistical/ risk analysis, GIS and etc.). 1-1-1. To determine course themes 1-1-2. To determine subjects and lecturers (e.g.</p>			<p>The Project budget of each institution is maintained. Trained personnel continue working for their institutions.</p>

<p>Japanese experts)</p> <p>1-1-3. To take the courses</p> <p>1-2. The teaching staff form a working group for information management and operate it.</p> <p>2. [The environment for diagnosis and research in the FCV-UNLP is improved to meet international standards for better livestock hygiene in the southern part of South America.]</p> <p>2-1. To integrate the functions of the existent laboratories in the FCV-UNLP</p> <p>2-2. To improve the central laboratory if biosafety for human resource development</p> <p>2-2-1. To improve the central laboratory to meet international standards</p> <p>2-2-2. To establish a laboratory administration system</p> <p>2-2-3. To train human resources for the central laboratory</p> <p>3. [Regional network for diagnostic and epidemiological information is developed.]</p> <p>3-1. To establish a regulation of the regional network with the collaboration of the participating countries</p> <p>3-2. To administrate the network</p> <p>3-3. To exchange information through the network utilizing the Internet</p> <p>3-4. To set up a Project website</p> <p>3-5. To formulate and conduct a strategy for Project publicity</p> <p>4. [Regional coordination system is established.]</p> <p>4-1. To foster institutionalization for the regional coordination system</p> <p>4-1-1. To demarcate the roles of participants of the Project</p> <p>4-1-2. To appoint coordinators in each of the participating universities</p> <p>4-1-3. To acquire a PCM method</p> <p>4-1-4. To secure the budget for activities</p> <p>4-1-5. To establish a regulation for the regional coordination system</p> <p>4-1-6. To establish a Project Steering Committee (SC)</p>	<p>Argentina</p> <p>1. Personnel/ Counterparts</p> <p>2. Equipment</p> <p>3. Land, buildings and facilities</p> <p>4. Running cost for the Project and etc.</p>	<p><u>Pre-conditions</u></p> <p>The political decision participating in the Project</p> <p>The acceptance of the Project by the Board of the UNLP</p> <p>The agreement amongst laboratories, universities, governmental institutions</p>
--	---	--

		<p>4-2. To hold a regular meeting of the SC</p> <p>4-2-1. To formulate a Project plan</p> <p>4-2-1-1. To clarify the importance of veterinary training in the region</p> <p>4-2-1-2. To formulate an action plan based on the necessities in each of the participating countries</p> <p>4-2-1-3. To formulate an action plan for the coordination system</p> <p>4-2-1-4. To determine experts for the veterinary training</p> <p>4-2-1-5. To establish methodologies for the training</p> <p>4-2-1-6. To formulate a time table for the activities</p> <p>4-2-1-7. To formulate a training program</p> <p>4-2-2. To implement the Project</p> <p>4-2-2-1. To conduct a regional training</p> <p>4-2-2-2. To research in the whole region</p> <p>4-2-2-3. To establish an information exchange system in the region</p> <p>4-2-2-4. To exchange the results of the research</p> <p>4-2-3. To conduct a monitoring and evaluation</p> <p>4-2-3-1. To formulate an annual plan in each of the participating countries</p> <p>4-2-3-2. To implement a monitoring in each of the participating countries</p> <p>4-2-3-3. To share the monitoring results among the participating universities in the region</p> <p>5. [Regional research groups are formed.]</p> <p>5-1. To undertake a joint research in the region</p> <p>5-2. To hold a joint seminar in the region</p> <p>5-3. To publish a research paper</p> <p>6. [A system under mutual recognition for continuing professional development is established in the regional network.]</p> <p>6-1. To establish a regulation for credit transfer</p> <p>6-2. To determine mutual interested areas in the regional network</p> <p>6-3. To formulate a curriculum</p> <p>6-4. To conduct a course of the continuing professional development</p>
--	--	---

ANNEX III PLAN OF OPERATIONS

I. Plan of Operations for Argentina

Item of Activities	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
1. The capacity of teaching staff in the FCV-UNLP is improved.					
1-1 The teaching staff take courses of new techniques (e.g. diagnosing, statistical/ risk analysis, GIS and etc.).					
1-2 The teaching staff form a working group for information management and operate it.					
2. The environment for diagnosis and research in the FCV-UNLP is improved to meet international standards for better livestock hygiene in the southern part of South America.					
2-1 To integrate the functions of the existent laboratories in the FCV-UNLP					
2-2 To improve the central laboratory in biosafety for human resource development					
3. Regional network for diagnostic and epidemiological information is developed.					
3-1 To establish a regulation of the regional network with the collaboration of the participating countries					
3-2 To administrate the network					
3-3 To exchange information through the network utilizing the Internet					
3-4 To set up a Project website					
3-5 To formulate and conduct a strategy for Project publicity					
4. Regional coordination system is established.					
4-1 To foster institutionalization for the regional coordination system					
4-2 To hold a regular meeting of the Steering Committee					
5. Regional research groups are formed.					
5-1 To undertake a joint research in the region					
5-2 To hold a joint seminar in the region					
5-3 To publish a research paper					
6. A system under mutual recognition for continuing professional development is established in the regional network.					
6-1 To establish a regulation for credit transfer					
6-2 To determine mutual interested areas in the regional network					
6-3 To formulate a curriculum					
6-4 To conduct a course of the continuing professional development					

II. Plan of Operations for Bolivia, Paraguay and Uruguay

Item of Activities	Bolivia	Paraguay	Uruguay	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
1. The capacity of teaching staff in the Faculty of Veterinary Sciences of the participating universities is improved.								
1-1(1) To conduct continuing training/ educational courses for the teaching staff, laboratory veterinarians and clinic veterinarians	+	+						
1-1(2) To conduct continuing training/ educational courses		+	+					
1-2 To formulate a research group network	+	+						
1-3 To conduct on-the-job-trainings (OJTs)	+	+						
1-4 To conduct a postgraduate education	+	+						
1-5 A system for continuing professional development courses for the teaching staff is established	+							
1-6 The continuing professional development courses for the teaching staff are implemented.	+							
1-7 To develop a manual for the field practices and guide those concerned with it	+							
2. The capacity of laboratory veterinarians is improved/ Laboratory veterinarians are trained.	+	+						
2-1(1) To participate continuing educational courses	+	+						
2-1(2) To conduct continuing educational courses		+						
2-2 To conduct on-the-job-trainings (OJTs)	+	+						
2-3 To participate continuing professional development program	+	+						
2-4 To participate research groups	+	+						
2-5 To form a research group network		+						
3. The capacity of field (or clinic) veterinarians is improved /Field (or clinic) veterinarians are trained.	+	+						
3-1(1) To participate continuing educational courses	+	+						
3-1(2) To conduct continuing educational courses		+						
3-2 To conduct on-the-job-trainings (OJTs)	+	+						
3-3 To participate continuing professional development program	+	+						
3-4 To participate research groups	+	+						
3-5 To develop a manual for the field practices and guide those concerned with it	+	+						

II. Plan of Operations for Bolivia, Paraguay and Uruguay (continued)

Item of Activities	Bolivia	Paraguay	Uruguay	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
4. Laboratory protocol becomes appropriate/ Laboratory protocol is improved.								
4-1 To improve laboratory facilities	+							
4-2 To hold workshops for improvement of diagnostic procedures	+	+	+					
4-3(1) To promote and disseminate improved diagnostic techniques/ knowledge	+	+	+					
4-3(2) To promote applied diagnostic techniques/ knowledge								
4-4 To develop standardized protocols in collaboration with the other participating laboratories								
4-5 Publish and disseminate the standardized protocols								
5. Regional information network is formed.								
5-1 To establish a regulation of regional laboratory network organisations with the collaboration of the participating countries	+	+						
5-2 To participate the network	+	+	+					
5-3 To exchange information through the network utilizing the Internet	+	+	+					
6. Regional coordination system is established.								
6-1 To foster Institutionalization	+	+	+					
6-2(1) To participate regularly the Project Steering Committee meetings	+	+	+					
7. Research groups are formed in the region.								
7-1(1) To participate regional research groups	+	+						
7-1(2) To implement activities of regional joint research								
7-2(1) To participate joint seminars in the region	+	+						
7-2(2) To hold joint seminars in the region								
7-3 To publish a research paper								

ANNEX IV STEERING COMMITTEE

1. Function

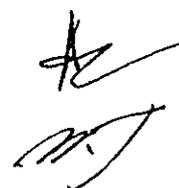
The Steering Committee will be held periodically and whenever the necessity arises in order to fulfil the following functions:

- (1) To develop and improve the detailed activities of the Project
- (2) To coordinate, monitor and evaluate the activities of the Project
- (3) To summarise progress of the activities of the Project and report it to the Joint Coordinating Committee

2. Committee Composition

- (1) Chairperson:
Dean of Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata as the Project Manager
- (3) Members:
 - 1) Argentine side
 - a. General Coordinator
 - b. Coordinator for Bolivia
 - c. Coordinator for Paraguay
 - d. Coordinator for Uruguay
 - 2) Bolivian side
 - a. Country Coordinator of Bolivia
 - 3) Paraguayan side
 - a. Country Coordinator of Paraguay
 - 4) Uruguayan side
 - a. Country Coordinator of Uruguay
 - 5) Japanese side
 - a. Experts assigned to the Project
 - b. Personnel concerned of the Project

Notes: Persons designated by the Chairperson may attend the Steering Committee meeting.

Two handwritten signatures in black ink, one above the other, located in the bottom right corner of the page.

4. 広域プロジェクト計画書 PDM(西文)

PDM GENERAL Ver.1.0

Período de ejecución: 1 de Agosto de 2005 al 31 de Julio de 2010
Fecha de elaboración: Junio 2005

Título del proyecto: Desarrollo de Capacidades para el Mejoramiento de la Salud Animal en la Parte Sur de Sudamérica a través de la Cooperación Técnica Regional
Área objeto del proyecto: Argentina, Bolivia, Paraguay, Uruguay
Grupo meta: Docentes de la facultad de veterinaria, veterinarios de laboratorios, veterinarios de campo del área objeto del proyecto

<Resumen del proyecto>	<Indicadores>	<Medios de verificación>	<Supuestos importantes>
<p><Objetivo superior> Se proveen adecuados diagnósticos veterinarios en la parte sur de Sudamérica</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Aumenta el número de diagnósticos adecuados de enfermedades en animales 2. Los procedimientos de diagnóstico de enfermedades en animales en la región se ejecutan sobre la base de los manuales y guías formulados en el proyecto 3. El número necesario de veterinarios, capaces de diagnosticar sobre la base de los manuales y guías formulados en el proyecto es seguro y están comprometidos con la práctica veterinaria continua 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Informes de SENASA y organismos relacionados 2. Informes de monitoreo 3. Informes de monitores, registros de laboratorios e informes del SENASA 	<p>No hay un a gran epizootia</p>
<p><Objetivo específico> Se establece un sistema de desarrollo profesional continuo en diagnóstico veterinario. Se desarrolla una red de cooperación en recursos humanos y de intercambio de información sobre diagnóstica y epidemiológica</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Se establece y funciona un sistema para la implementación del desarrollo profesional continuo en marcha. 2. Año tras año aumenta el número de inscripciones en la base de datos de veterinarios y el intercambio de información. 3. Año tras año aumenta el número de inscripciones en la red de información y el intercambio de información a través de la red. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Informes de Monitoreo 2. Análisis de los resultados de movimiento en la página Web 3. Análisis de los resultados de movimiento en la página Web 	<p>No cambia la prioridad del proyecto en la política de estado</p>
<p><Resultados> Equivalente a los resultados de los sub-proyectos para cada país participante. Ver la PDM de cada país participante</p> <p><Actividades> Ver la PDM de cada país participante</p>	<p><Insumos> Ver la PDM de cada país participante</p>		<p><Condiciones previas> Ver la PDM de cada país participante</p>

Título del proyecto: Desarrollo de Capacidades para el Mejoramiento de la Salud Animal en la Parte Sur de Sudamérica a través de la Cooperación Técnica Regional
 Sitio de proyecto: Facultad de Ciencias Veterinarias, Universidad Nacional de La Plata; FCV-UNLP
 Área objeto del proyecto: Argentina
 Grupo objeto: Docentes de la Facultad de Ciencias Veterinarias, veterinarios de laboratorios, veterinarios de campo del área objeto del proyecto

<Resumen narrativo> <Super ítem> Ver PDM GENERAL VERSION	<Indicadores>	<Medios de verificación>	<Supuestos importantes>
<Objetivo del proyecto> (a nivel regional) Ver PDM GENERAL VERSION <Objetivo del sub-proyecto> (a nivel nacional) Se mejora la capacidad de la FCV-UNLP como Centro Veterinario para el Desarrollo Profesional Continuo en la parte Sur de Sudamérica	<ol style="list-style-type: none"> El número de veterinarios así como de docentes enviados desde Argentina a los otros países participantes se incrementa año a año En comparación con el período inicial del proyecto, mila demanda para el desarrollo de recursos humanos se incrementa 20% El desempeño en actividades de cursos utilizando nuevas tecnologías adquiridas y conocimiento diagnóstico se incrementa año a año Adecuando los roles esperados como Laboratorio Central Regional, se incrementa año a año el número de diagnósticos y los informes de investigaciones relacionadas Se establece y mantiene las reglamentaciones internas en el laboratorio de bioseguridad 	<ol style="list-style-type: none"> Informe de monitoreo y minuta del Comité Ejecutivo Propuestas y planes iniciales de cada país participante, informes de coordinadores por país Informes de monitoreo, informes docentes, resultados extraídos de cuestionarios de los becarios. Informe anual de la Facultad, informes de investigación Documentos de reglamentaciones internas para el laboratorio de bioseguridad, informe anual de la Facultad 	No cambia la prioridad del proyecto en la política de estado Se mantiene el presupuesto del proyecto de cada institución El personal capacitado permanece en la misma institución
<Resultados> <ol style="list-style-type: none"> Se mejora la capacidad de los docentes de FCV-UNLP Se mejora el entorno para diagnóstico e investigación en la FCV-UNLP para alcanzar estándares internacionales para el mejoramiento de la higiene animal en la parte sur de Sudamérica Se desarrolla una red de diagnóstico e información epidemiológica 	<ol style="list-style-type: none"> En comparación con el período inicial del proyecto, al final se incrementa el número de docentes que adquieren nuevas técnicas Aumenta la cantidad de publicaciones y de los informes de investigación relacionada a las enfermedades en cuestión, en un 10% por año En comparación con el período inicial del proyecto, se incrementa en un 50% el número de candidatos posibles a ser enviados como docentes a los otros países participantes (ahora es de 20 personas) El laboratorio central es mejorado para alcanzar estándares internacionales al finalizar el proyecto Se aseguran los recursos humanos necesarios para el manejo del laboratorio al final del proyecto Al final del proyecto se establece la red con los participantes del proyecto Después de la formulación de la red, se recolecta regularmente, a través de la red la información de los países participantes La información es provista regularmente a través de la red con una renovación del proyecto (sitio web y grupo de noticias) El tráfico del sitio web se incrementa 10% año a año 	<ol style="list-style-type: none"> Listado de docentes que han recibido y aprobado la capacitación Informe anual de la Facultad Listado de los expertos de terceros países (MOFA de Argentina y JICA) Informe de monitoreo Listado de personal de la Facultad Informe de monitoreo Minuta del Comité Ejecutivo Publicación del registro del grupo de noticias y el resultado de los cuestionarios a los usuarios Análisis de resultados del tráfico del sitio web 	No cambia la prioridad del proyecto en la política de estado Se mantiene el presupuesto del proyecto de cada institución El personal capacitado permanece en la misma institución

<p>4. Se establece un sistema de coordinación regional</p>	<p>1. En las reuniones del Comité Ejecutivo, se toman las decisiones sobre planificación, implementación y monitoreo</p> <p>2. El proceso mencionado sobre los participantes a la capacitación, participantes y temas de la investigación será clara, transparente, imparcial, razonable entre otros</p>	<p>1. Informe de monitoreo, minuta del Comité Ejecutivo, informe de los coordinadores de los países e informe de los expertos</p> <p>2. Informe de monitoreo, minuta del Comité Ejecutivo, informe de los coordinadores de los países e informe de los expertos</p>	
<p>5. Se forman grupos de investigación en la región</p>	<p>1. Se forman 12 grupos de investigación al tercer año del proyecto</p> <p>2. Se forman 20 grupos de investigación al finalizar el proyecto</p> <p>3. Se publican 20 informes de investigación</p> <p>4. Se mantienen 4 seminarios del Comité Directivo</p>	<p>1. Informe de monitoreo, Papers de investigación e Informes anuales de la Facultad</p> <p>2. Informe de monitoreo, Papers de investigación e Informes anuales de la Facultad</p> <p>3. Informe de monitoreo, Papers de investigación, tesis e Informes anuales de la Facultad</p> <p>4. Informe de monitoreo, Informes del Comité Directivo y resúmenes de los seminarios</p>	
<p>6. Se establece un sistema de reconocimiento mutuo para el desarrollo profesional continuo en la red regional</p>	<p>1. Se implementan dos cursos al finalizar el proyecto</p>	<p>1. Programa del curso, acuerdos entre las universidades participantes</p>	

<p><Actividades></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [Se mejora la capacidad de los docentes de FCV-UNLP] <ol style="list-style-type: none"> 1-1. El plantel docente toma cursos de nuevas técnicas (ej. Diagnóstico, estadística/ análisis de riesgos, GIS, etc.) 1-2. El plantel docente crea un grupo de trabajo para el manejo de la información y lo opera 2. [Se mejora el entorno para diagnóstico e investigación en la FCV-UNLP para alcanzar estándares internacionales para el mejoramiento de la higiene animal en la parte sur de Sudamérica] <ol style="list-style-type: none"> 2-1. Para integrar las funciones entre los laboratorios existentes en la FCV-UNLP 2-2. Para mejorar el Laboratorio central en bioseguridad para desarrollo de recursos humanos 3. Se desarrolla una red de diagnóstico e información epidemiológica <ol style="list-style-type: none"> 3-1. Para establecer regulaciones de la red regional con la colaboración de los países participantes 3-2. Para administrar la red 3-3. Para el intercambio de la información a través de la red utilizando Internet 3-4. Para poner en marcha el sitio web del proyecto 3-5. Para formular y conducir una estrategia para publicar el proyecto 4. [Se establece un sistema de coordinación regional] <ol style="list-style-type: none"> 4-1. Fomentar su organización 4-2. Para mantener reuniones regulares del Comité Ejecutivo del proyecto 5. [Se forman grupos de investigación en la región] <ol style="list-style-type: none"> 5-1. Implementar actividades de investigación regional conjunta 5-2. Organizar seminarios conjuntos en la región 5-3. Publicar documentos de investigación 6. [Se establece un sistema de reconocimiento mutuo para el desarrollo profesional continuo en la red regional] <ol style="list-style-type: none"> 6-1. Para establecer regulaciones a la transferencia de créditos 6-2. Para determinar áreas de interés mutuo en la red regional 6-3. Para formular una currícula 6-4. Para conducir un curso de desarrollo profesional continuo 	<p><Aportes></p> <p>Japón</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Personal: expertos de largo y corto plazo 2. Equipamientos 3. Capacitación del personal contraparte 4. Fondos para administración del proyecto <p>Argentina</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Personal / Contrapartes 2. Equipamientos 3. Terreno, edificios y facilidades 4. Gastos operativos del proyecto y otros 	<p>Se mantiene el presupuesto del proyecto de cada institución El personal capacitado permanece en la misma institución</p> <p><Condiciones previas></p> <p>Decisión política de participación en el proyecto</p> <p>Aceptación del proyecto en la Universidad Nacional de La Plata</p> <p>Acuerdo entre laboratorios, Universidad e instituciones gubernamentales</p>
--	--	--

6. ボリビア国実施協議議事録(R/D)

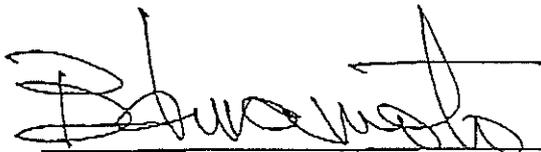
2005年8月署名

RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF BOLIVIA ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE PROJECT OF THE CAPACITY DEVELOPMENT FOR IMPROVEMENT OF
LIVESTOCK HYGIENE IN THE SOUTHERN PART OF
SOUTH AMERICA THROUGH REGIONAL TECHNICAL COOPERATION

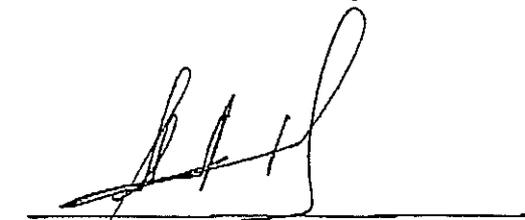
The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") through its Resident Representative in Bolivia, exchanged views and had a series of discussions with the Bolivian authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Government of the Republic of Bolivia for the successful implementation of the Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation.

As a result of the discussions, and in accordance with the provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Republic of Bolivia, signed in La Paz on March 22, 1978 (hereinafter referred to as "the Agreement"), JICA and the Bolivian authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Santa Cruz, 2 August, 2005



Mr. Bunkichi KURAMOTO
Resident Representative in Bolivia
Japan International Cooperation Agency
Japan



Dr. Inhe-Salek Mery
President
Autonomous University of Gabriel Rene
Moreno
The Republic of Bolivia

THE ATTACHED DOCUMENT

I. BILATERAL COOPERATION BETWEEN JICA AND THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF BOLIVIA

1. The Government of the Republic of Bolivia will implement the Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation (hereinafter referred to as "the Project") in cooperation with JICA.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I.

II. REGIONAL TECHNICAL COOPERATION

1. The Governments of the Argentine Republic (the hub country of the Project), the Republic of Bolivia, the Republic of Paraguay and the Oriental Republic of Uruguay, and JICA will jointly implement the Project in the scope of the Master Plan.
2. The Argentine Republic, as the hub country, will play a leading role in extending the outputs of the Project as well as the achievements of the past Argentina-Japan Technical Cooperation implemented in the sector of livestock hygiene into the neighbouring countries such as the Republic of Bolivia, the Republic of Paraguay and the Oriental Republic of Uruguay.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article II of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expense, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE AND THIRD-COUNTRY EXPERTS

JICA will provide the services of the Japanese experts as listed in ANNEX II. The provisions of Article VI of the Agreement will be applied to the above-mentioned experts. Third-country experts will be provided as well.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The provisions of Article IX of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF BOLIVIAN PERSONNEL IN JAPAN AND THIRD

COUNTRIES

JICA will receive the Bolivian personnel connected with the Project for technical training in Japan and third countries.

IV. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF BOLIVIA

1. The Government of the Republic of Bolivia will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of the Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. The Government of the Republic of Bolivia will ensure that the technology and knowledge acquired by the Bolivian nationals as a result of the Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Republic of Bolivia.
3. In accordance with the provisions of Article VI of the Agreement, the Government of the Republic of Bolivia will grant in the Republic of Bolivia privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in III-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article IX of the Agreement, the Government of the Republic of Bolivia will take necessary measures to receive and use the Equipment provided by JICA under III-2 above and machinery, equipment, and other materials carried in by the Japanese experts referred to in III-1 above.
5. The Government of the Republic of Bolivia will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Bolivian personnel from the technical training in Japan will be effectively utilized in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provisions of Article V of the Agreement, the Government of the Republic of Bolivia will provide the services of Bolivian counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX IV.
7. In accordance with the provisions of Article V of the Agreement, the Government of the Republic of Bolivia will provide the buildings and facilities as listed in ANNEX V.
8. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Bolivia, the Government of the Republic of Bolivia will take necessary measures to supply or replace, at its own expense, machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than the Equipment provided by JICA

under III-2 above.

9. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Bolivia, the Government of the Republic of Bolivia will take necessary measures to meet the running expenses necessary for the implementation of the Project.

V. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established, the functions and composition of which are described in ANNEX VI.
2. The President of National University of La Plata, the Argentine Republic or the hub country of the Project, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
3. The Dean of Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata, the Argentine Republic, as the Project Manager, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
4. The General Coordinator, assigned from the Argentine Republic, will bear overall responsibility for the operational coordination of the Project.
5. Each Coordinator for Bolivia, Paraguay and Uruguay, assigned from the Argentine Republic, will be responsible for the liaison and coordination matters to the country taking charge, with the cooperation of the General Coordinator.
6. Country Coordinators of Bolivia, Paraguay and Uruguay, assigned from each of the three countries, will be responsible for the liaison and coordination matters on behalf of his/ her own country, in conjunction with each Coordinator for the three countries above-mentioned.
7. The Japanese expert in charge of Project Management will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Manager on any matters pertaining to the implementation of the Project.
8. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to Bolivian counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.

VI. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be jointly conducted by JICA and the authorities concerned of the four participating countries, at the middle and during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievements.

VII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provisions of Article VII of the Agreement, the Government of the Republic of Bolivia undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or in connection with the discharge of their official functions in the Republic of Bolivia except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VIII. MUTUAL CONSULTATION

There will be a mutual consultation between JICA and the Government of the Republic of Bolivia on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

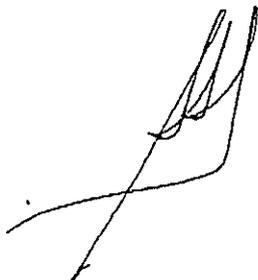
IX. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING OF AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among Bolivian nationals, the Government of the Republic of Bolivia will take appropriate measures to make the Project widely known to Bolivian nationals.

X. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be from 2 August, 2005 to July 31, 2010 inclusive.

ANNEX I	MASTER PLAN
ANNEX II	LIST OF JAPANESE EXPERTS
ANNEX III	LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
ANNEX IV	LIST OF COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
ANNEX V	LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES
ANNEX VI	JOINT COORDINATING COMMITTEE



ANNEX I MASTER PLAN

A. BILATERAL COOPERATION BETWEEN JICA AND THE REPUBLIC OF BOLIVIA

1. Objectives of the Project

- (1) Overall Goal
Proper veterinary diagnosis is provided in the southern part of South America.
- (2) Project Purpose (at a Regional Level)
A system for continuing professional development in veterinary diagnosis is established. Both networks of cooperation in human resources and of sharing diagnostic and epidemiological information are developed.
- (3) Subproject Purpose (at a National Level)
The capacity of diagnosis for livestock diseases is improved in Bolivia.

2. Outputs and their Activities of the Project

- (1) The capacity of teaching staff in the Faculty of Veterinary Medicine and Livestock Sciences, Autonomous University of Gabriel Rene Moreno (Facultad de Medicina Veterinaria y Zootecnia, Universidad Autonoma Gabriel Rene Moreno; FMVZ-UAGRM) is improved.
 - 1-1. To conduct continuing training/ educational courses for the teaching staff, laboratory veterinarians and clinic veterinarians
 - 1-2. To formulate a research group network
 - 1-3. To conduct on-the-job-trainings (OJTs)
 - 1-4. To conduct a postgraduate education
 - 1-5. A system for continuing professional development courses for the teaching staff is established.
 - 1-6. The continuing professional development courses for the teaching staff are implemented.
 - 1-7. To develop a manual for the field practices and guide those concerned with it
- (2) The capacity of laboratory veterinarians in LIDIVET is improved.
 - 2-1. To participate in continuing educational courses
 - 2-2. To conduct on-the-job-trainings (OJTs)
 - 2-3. To participate in continuing professional development program
 - 2-4. To participate in research groups
- (3) The capacity of field (or clinic) veterinarians is improved.
 - 3-1. To participate in continuing educational courses
 - 3-2. To conduct on-the-job-trainings (OJTs)
 - 3-3. To participate in continuing professional development program

3-4. To participate in research groups

- (4) Laboratory protocol becomes appropriate.
 - 4-1. To improve laboratory facilities
 - 4-2. To hold workshops for improvement of diagnostic procedures
 - 4-3. To promote and disseminate improved diagnostic techniques/ knowledge
- (5) Regional information network is formed.
 - 5-1. To establish a regulation of regional laboratory network organisations with the collaboration of the participating countries
 - 5-2. To participate in the network
 - 5-3. To exchange information through the network utilizing the Internet
- (6) Regional coordination system is established.
 - 6-1. To foster Institutionalization
 - 6-2. To participate regularly in the Project Steering Committee meetings
- (7) Research groups are formed in the region.
 - 7-1. To participate in regional research groups
 - 7-2. To participate in joint seminars in the region

3. Project Site

Faculty of Veterinary Medicine and Livestock Sciences, Autonomous University of Gabriel Rene Moreno

B. REGIONAL TECHNICAL COOPERATION

1. Objectives of the Project

Refer to the A. 1. (1) and (2).

2. Outputs of the Project (equivalent to the Subproject Purposes for each of the participating countries)

- (1) The capacity of the Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata (Facultad de Ciencias Veterinarias, Universidad Nacional de La Plata; FCV-UNLP) is strengthened as the Veterinary Centre for Continuing Professional Development in the Southern Part of South America.
- (2) Refer to the A. 1. (3).
- (3) The capacity of diagnosis for livestock diseases is improved in Paraguay.
- (4) The capacity of diagnosis for livestock diseases is improved in Uruguay.

3. Activities of the Project

Refer to the PDMs for each of the participating countries.

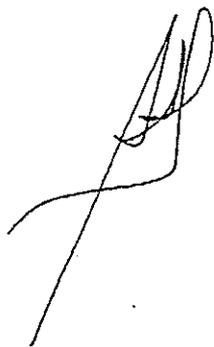
4. Target Area

Four countries (Argentina, Bolivia, Paraguay and Uruguay) in the region

ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS AND THEIR DUTIES

1. Long-term Expert
Epidemiological Information Resource Management/ Project Management
To give technical advice and support in the field of epidemiological information resource management.
To coordinate administrative and managerial matters of the Project activities, and monitor the progress of the Project.
To provide necessary recommendations and advice to the Project Director, Project Manager, Coordinators and related authorities on any matters pertaining to the Project.
2. Short-term Expert(s)
Short-term Expert(s) will be dispatched, when necessity arises, according to the requirements established within the framework of the Project.
 - (1) Project Cycle Management (PCM) Training
 - (2) Expert(s) in a particular area of diagnostics when proper third-country expert(s) from Argentina and Uruguay cannot be recruited.

Notes: Long-term expert will operate based in the Argentine Republic.
The fields, number and terms of assignment of short-term experts will be decided in consideration of the progress of the Project through mutual consultations including the Joint Coordinating Committee in each Japanese fiscal year.



ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Machinery, equipment and any other materials necessary for the effective implementation of the Project will be provided by JICA within budgetary limitations.

A large, stylized handwritten signature in black ink, consisting of several overlapping loops and a long horizontal stroke extending to the left.A small, simple handwritten mark or signature in black ink, resembling a stylized 'o' or a small flourish.

ANNEX IV LIST OF COUNTERPARTS AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Counterpart Personnel

- (1) Project Director:
President of National University of La Plata, Argentina
 - (2) Project Manager:
Dean of Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata, Argentina
 - (3) Counterparts*
 - 1) General Coordinator
 - 2) Coordinator for Bolivia
 - 3) Coordinator for Paraguay
 - 4) Coordinator for Uruguay
 - 5) Suitably qualified counterpart personnel shall be assigned continuously in the fields related to the activities of Japanese Experts as specified in ANNEX II.
- * Country Coordinators of Bolivia, Paraguay and Uruguay are assigned from each of the three countries.

2. Administrative Personnel

- (1) Administrative Staff
- (2) Secretaries/ Typists
- (3) Drivers
- (4) Other necessary support staff

ANNEX V LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES

1. Land, buildings and facilities necessary for the Project
2. Rooms and space necessary for installation and storage of the equipment
3. Office space and necessary facilities for the experts
4. Electricity, water supply and necessary telecommunication facilities including telephone, facsimile and e-mail services
5. Other facilities mutually agreed upon, if necessary



ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Function

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year and whenever the necessity arises in order to fulfill the following functions:

- (1) To formulate the Annual Work Plan under the framework of the Record of Discussions
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation program in accordance with the Annual Work Plan of the Project
- (3) To review those measures taken by JICA:
 - 1) Dispatch of Japanese experts
 - 2) Acceptance of Bolivian counterpart personnel in Japan and third countries for training
 - 3) Provision of machinery and equipment
- (4) To review those measures taken by the Government of the Republic of Bolivia:
 - 1) Allocation of necessary budget (including local cost expenditures)
 - 2) Allocation of necessary counterpart personnel
 - 3) Utilization and administration of machinery and equipment provided by the Government of Japan
- (5) To make recommendations to the respective Governments on:
 - 1) Budgetary matters
 - 2) Recruitment and appointment of Bolivian counterpart personnel
 - 3) Selection and effective utilization of machinery and equipment
 - 4) Appropriate dispatch of Japanese experts
 - 5) Acceptance of Bolivian counterpart personnel in Japan and third countries for training
- (6) Other matters when required

2. Committee Composition

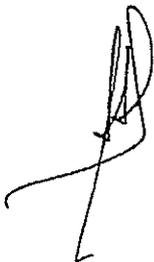
- (1) Chairperson:
President of National University of La Plata as the Project Director
- (2) Members:
 - 1) Argentine side
 - a. Dean of Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata as the Project Manager
 - b. General Coordinator
 - c. Coordinator for Bolivia
 - d. Coordinator for Paraguay
 - e. Coordinator for Uruguay
 - 2) Bolivian side
 - a. Country Coordinator of Bolivia
 - 3) Paraguayan side
 - a. Country Coordinator of Paraguay

- 4) Uruguayan side
 - a. Country Coordinator of Uruguay

- 5) Japanese side
 - a. Experts assigned to the Project
 - b. Other Japanese experts and personnel concerned dispatched by JICA
 - c. Representative of JICA Argentina Office

Notes: Officials of the Embassy of Japan may attend the Joint Coordinating Committee meeting as observers.

Persons designated by the Chairperson may attend the Joint Coordinating Committee meeting.



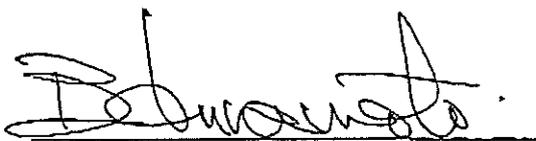
2005 年 8 月署名

MINUTES OF MEETING BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE REPUBLIC OF BOLIVIA ON
JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE PROJECT OF THE CAPACITY DEVELOPMENT FOR IMPROVEMENT OF
LIVESTOCK HYGIENE IN THE SOUTHERN PART OF
SOUTH AMERICA THROUGH REGIONAL TECHNICAL COOPERATION

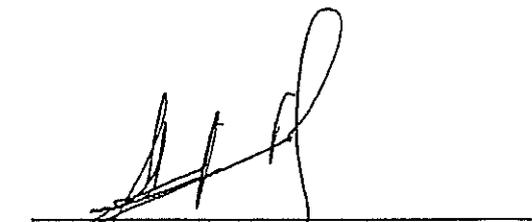
The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") had further discussions with the Bolivian authorities concerned with respect to desirable measures to be taken by JICA and the Government of the Republic of Bolivia for the successful implementations of the Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation.

As a result of the discussions, JICA and the Bolivian authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto. These Minutes of Meeting are considered as a supplement document of the Record of Discussions signed on the same date.

Santa Cruz, 2 August, 2005



Mr. Bunkichi KURAMOTO
Resident Representative in Bolivia
Japan International Cooperation Agency
Japan



Dr. Julio Salek Mery
President
Autonomous University of Gabriel Rene
Moreno
The Republic of Bolivia

THE ATTACHED DOCUMENT

I. PROJECT DESIGN MATRIX

The Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") specifies the objectives, outputs and activities of the Project of the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation (hereinafter referred to as "the Project"), and it is used for monitoring and evaluation of the Project activities and achievements. The PDM may be modified upon the approval of the Joint Coordinating Committee within the framework of the Record of Discussions as necessary in accordance with the progress of the Project. The PDM is given in ANNEX I and II.

II. PLAN OF OPERATIONS

JICA and the Bolivian authorities concerned have jointly formulated the Plan of Operations shown as ANNEX III. The Plan of Operations may be modified with the same manner as the PDM above.

III. STEERING COMMITTEE

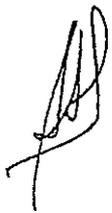
For the effective and successful implementation of the Project, a Steering Committee will be established that functions and composition are described in ANNEX IV.

IV. BUDGET ALLOCATION TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF BOLIVIA

The Bolivian side will secure the budget for the following items and be expected to take necessary measures ensuring the self-reliant operation of the Project during and after the period of Japanese technical cooperation.

1. Expenses necessary for domestic transportation of the equipment provided through JICA under the Project in the Republic of Bolivia, as well as for installation, operation and maintenance.
2. Expenses necessary for customs, duties, internal taxes and other charges imposed on the equipment provided through JICA under the Project in the Republic of Bolivia.
3. Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the Project, other than the equipment provided through JICA under the Project.
4. Running expenses necessary for the smooth implementation of the Project.

ANNEX I PROJECT DESIGN MATRIX (PDM; GENERAL VERSION)
ANNEX II PROJECT DESIGN MATRIX (PDM; BOLIVIA VERSION)
ANNEX III PLAN OF OPERATIONS
ANNEX IV STEERING COMMITTEE



ANNEX I

Project Title: The Project for the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation
 Term of Cooperation: 2 August 2005 to 31 July 2010
 Target Area: Argentina, Bolivia, Paraguay and Uruguay
 Creation Date: June 2005

Target Group: Teaching staff of the Faculty of Veterinary Sciences, laboratory veterinarians and field veterinarians in the target area

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p><u>Overall Goal</u> Proper veterinary diagnosis is provided in the southern part of South America.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. The number of the proper diagnosing cases of livestock diseases increases. 2. The procedures of diagnosis of animal diseases in the region are undertaken into practice based on the project-formulated manuals and guidelines. 3. The necessary number of veterinarians, able to diagnose based on the project-formulated manuals and guidelines, is secured and they engage in veterinary practice continuously. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. SENASA reports and the reports of related organisations 2. Monitoring reports 3. Monitoring reports, laboratories' records and SENASA reports 	<p>No outbreak of serious animal diseases appears.</p>
<p><u>Project Purpose</u> A system for continuing professional development in veterinary diagnosis is established. Both networks of cooperation in human resources and of sharing diagnostic and epidemiological information are developed.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. A system for the ongoing implementation of the continuing professional development is established and operated. 2. The enrolment of the Veterinarian Database and the traffic to the database for information exchange increase year by year. 3. The enrolment of the Information Network and the traffic to the network for information exchange increase year by year. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Monitoring reports 2. Analysis results of the website traffic 3. Analysis results of the website traffic 	<p>Policy priority of the government for the Project is not changed.</p>
<p><u>Outputs: equivalent to the Subproject Purposes.</u> for each of the participating countries Refer to the PDMs for each of the participating countries.</p>			
<p><u>Activities</u> Refer to the PDMs for each of the participating countries.</p>	<p><u>Inputs</u> Refer to the PDMs for each of the participating countries.</p>		<p><u>Pre-conditions</u> Refer to the PDMs for each of the participating countries.</p>




ANNEX II

Project Title: The Project for the Capacity Development for Improvement of Livestock Hygiene in the Southern Part of South America through Regional Technical Cooperation
Project Site: Faculty of Veterinary Medicine and Livestock Sciences, Autonomous University of Gabriel Rene Moreno (Facultad de Medicina Veterinaria y Zootecnia, Universidad Autonoma Gabriel Rene Moreno; FMVZ-UAGRM)
Target Area: Bolivia
Target Group: Teaching staff of the FMVZ-UAGRM, laboratory veterinarians and field veterinarians in the target area

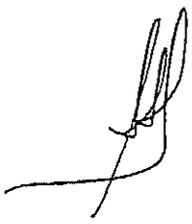
Term of Cooperation: 2 August 2005 to 31 July 2010
Creation Date: July 2005

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verifications	Important Assumptions
<p>Overall Goal Refer to the PDM GENERAL VERSION.</p> <p>Project Purpose (at a Regional Level) Refer to the PDM GENERAL VERSION.</p> <p>Subproject Purpose (at a National Level) The capacity of diagnosis for livestock diseases is improved in Bolivia.</p>	<ol style="list-style-type: none"> In comparison with the initial period of the Project, the number of the diagnosis and processed samples of the Project-related diseases increases by 100 %. The number of enquiries to veterinarians related to the FMVZ-UAGRM increases by 10% per capita year by year. In comparison with the initial period of the Project, the number of the processed samples of the Project-related diseases not meeting the necessary standards for diagnostic tests decreases by 50 %. 	<ol style="list-style-type: none"> Sample (or specimen) register Enquiry register Sample (or specimen) register of LJDIVET 	<p>Policy priority of the government for the Project is not changed. The Project budget of each institution is maintained. Trained personnel continue working for their institutions.</p>
<p>Outputs</p> <ol style="list-style-type: none"> The capacity of teaching staff in the FMVZ-UAGRM is improved. 	<ol style="list-style-type: none"> The number of the teaching staff (junior whom), participating in training sessions, increases by 60% at the final period of the Project. In comparison with the initial period of the Project, the number of the teaching staff, possible candidate as a seminar trainer for national veterinarians, increases by 30 %. Four (4) research groups are formed by the final year of the Project. The number of research reports and scientific papers on the region-related diseases by the teaching staff increases by 10% year by year. 	<ol style="list-style-type: none"> Lists of participants and completions Lists of the teaching staff, possible candidate as a seminar trainer for national veterinarians Lists of participants of research groups University's annual reports and bulletins 	<p>Policy priority of the government for the Project is not changed. The Project budget of each institution is maintained. Trained personnel continue working for their institutions.</p>

<p>2: The capacity of laboratory veterinarians in LIDIVET is improved.</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. In comparison with the initial period of the Project, the number of the laboratory veterinarians, participating in training sessions, increases by 100%. 2. In comparison with the initial period of the Project, the number of the laboratory veterinarians, participating in research groups increases by 20%. 3. From the second year of the Project, the number of investigation reports, research reports and scientific papers by the laboratory veterinarians increases by 10% year by year. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Lists of participants and completions 2. Lists of research groups 3. Laboratory research reports and annual activity reports 	
<ol style="list-style-type: none"> 3. The capacity of field (or clinic) veterinarians is improved. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. The number of the field veterinarians, participating in training sessions, becomes 200 persons at the final period of the Project. 2. The number of the field veterinarians, participating in research groups, increases by 4 persons from the initial period of the Project. 3. The proportion of samples meeting the standards for laboratory protocols by the Project becomes 70% and above. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Lists of participants and completions 2. Lists of research groups 3. Sample (or specimen) register of clinics 	
<ol style="list-style-type: none"> 4. Laboratory protocol becomes appropriate. 5. Regional information network is formed. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Sixty (60) % of standardized protocols are shared by the participating laboratories at the final period of the Project. 1. The network is wholly developed among the participants in the Project by the end of the Project. 2. Information provided to the network reach an effective level for diagnosing by the end of the Project. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Monitoring reports and experts' reports 1. Monitoring reports 2. Monitoring reports 	
<ol style="list-style-type: none"> 6. Regional coordination system is established. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Decisions on planning, implementing and monitoring are made in the Steering Committee meeting. 2. The decision making process on training participants, research participants and research themes is clear in transparency, fairness, reasonableness and etc. 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Monitoring reports 2. Minutes of the Project Steering Committee, country coordinators' reports, and experts' reports 	

<p>7. Research groups are formed in the region.</p>	<p>1. Bolivian participates in 3 research groups by the third year of the Project. 2. Bolivian participates in xx research groups by the final period of the Project. 3. The number of research activities becomes xx. 4. Bolivian participates in joint seminars in the region at least once a year. [Details of those numbers (xx) should be determined after commencing the Project.]</p>	<p>1. Monitoring reports 2. Monitoring reports 3. Joint research reports 4. Joint seminar reports</p>
<p><u>Activities</u> 1. [The capacity of teaching staff in the FMVZ-UA GRM is improved.] 1-1. To conduct continuing training/ educational courses for the teaching staff, laboratory veterinarians and clinic veterinarians 1-2. To formulate a research group network 1-3. To conduct on-the-job-trainings (OJTs) 1-4. To conduct a postgraduate education 1-5. A system for continuing professional development courses for the teaching staff is established. 1-6. The continuing professional development courses for the teaching staff are implemented. 1-7. To develop a manual for the field practices and guide those concerned with it 2. [The capacity of laboratory veterinarians in LIDIVET is improved.] 2-1. To participate in continuing educational courses 2-2. To conduct on-the-job-trainings (OJTs) 2-3. To participate in continuing professional development program 2-4. To participate in research groups 3. [The capacity of field (or clinic) veterinarians is improved.] 3-1. To participate in continuing educational courses 3-2. To conduct on-the-job-trainings (OJTs) 3-3. To participate in continuing professional development program 3-4. To participate in research groups</p>	<p><u>Inputs</u> Japan 1. Personnel: Long-term experts and Short-term experts 2. Equipment 3. Counterpart training 4. Project management cost Bolivia 1. Personnel/ Counterparts 2. Equipment 3. Land, buildings and facilities 4. Running cost for the Project and etc.</p>	<p>The Project budget of each institution is maintained. Trained personnel continue working for their institutions.</p> <p><u>Pre-conditions</u> The political decision participating in the Project. The acceptance of the Project by the Board of the UJ GRM The agreement amongst laboratories, universities, governmental institutions</p>

<p>4. [Laboratory protocol becomes appropriate.] 4-1. To improve laboratory facilities 4-2. To hold workshops for improvement of diagnostic procedures 4-3. To promote and disseminate improved diagnostic techniques/ knowledge</p> <p>5. [Regional information network is formed.] 5-1. To establish a regulation of regional laboratory network organisations with the collaboration of the participating countries 5-2. To participate in the network 5-3. To exchange information through the network utilizing the Internet</p> <p>6. [Regional coordination system is established.] 6-1. To foster institutionalization <u>6-2. To participate regularly in the Project Steering Committee meetings</u></p> <p>7. [Research groups are formed in the region.] 7-1. To participate in regional research groups 7-2. To participate in joint seminars in the region</p>		
--	--	--




ANNEX III PLAN OF OPERATIONS

I. Plan of Operations for Argentina

Item of Activities	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
1. The capacity of teaching staff in the FCV-UNLP is improved.					
1-1 The teaching staff take courses of new techniques (e.g. diagnosing, statistical/ risk analysis, GIS and etc.).					
1-2 The teaching staff form a working group for information management and operate it.					
2. The environment for diagnosis and research in the FCV-UNLP is improved to meet international standards for better livestock hygiene in the southern part of South America.					
2-1 To integrate the functions of the existent laboratories in the FCV-UNLP					
2-2 To improve the central laboratory in biosafety for human resource development					
3. Regional network for diagnostic and epidemiological information is developed.					
3-1 To establish a regulation of the regional network with the collaboration of the participating countries					
3-2 To administrate the network					
3-3 To exchange information through the network utilizing the Internet					
3-4 To set up a Project website					
3-5 To formulate and conduct a strategy for Project publicity					
4. Regional coordination system is established.					
4-1 To foster institutionalization for the regional coordination system					
4-2 To hold a regular meeting of the Steering Committee					
5. Regional research groups are formed.					
5-1 To undertake a joint research in the region					
5-2 To hold a joint seminar in the region					
5-3 To publish a research paper					
6. A system under mutual recognition for continuing professional development is established in the regional network.					
6-1 To establish a regulation for credit transfer					
6-2 To determine mutual interested areas in the regional network					
6-3 To formulate a curriculum					
6-4 To conduct a course of the continuing professional development					

II. Plan of Operations for Bolivia, Paraguay and Uruguay

Item of Activities	Bolivia	Paraguay	Uruguay	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
1. The capacity of teaching staff in the Faculty of Veterinary Sciences of the participating universities is improved.								
1-1(1) To conduct continuing training/ educational courses for the teaching staff, laboratory veterinarians and clinic veterinarians	+	+	+					
1-1(2) To conduct continuing training/ educational courses			+					
1-2 To formulate a research group network	+	+	+					
1-3 To conduct on-the-job-trainings (OJTs)	+	+	+					
1-4 To conduct a postgraduate education	+	+	+					
1-5 A system for continuing professional development courses for the teaching staff is established.	+							
1-6 The continuing professional development courses for the teaching staff are implemented.	+							
1-7 To develop a manual for the field practices and guide those concerned with it	+							
2. The capacity of laboratory veterinarians is improved/ Laboratory veterinarians are trained.								
2-1(1) To participate in continuing educational courses	+	+	+					
2-1(2) To conduct continuing educational courses			+					
2-2 To conduct on-the-job-trainings (OJTs)	+	+	+					
2-3 To participate in continuing professional development program	+	+	+					
2-4 To participate in research groups	+		+					
2-5 To form a research group network			+					
3. The capacity of field (or clinic) veterinarians is improved/Field (or clinic) veterinarians are trained.								
3-1(1) To participate in continuing educational courses	+	+	+					
3-1(2) To conduct continuing educational courses			+					
3-2 To conduct on-the-job-trainings (OJTs)	+	+	+					
3-3 To participate in continuing professional development program	+	+	+					
3-4 To participate in research groups	+	+	+					
3-5 To develop a manual for the field practices and guide those concerned with it	+	+	+					

II. Plan of Operations for Bolivia, Paraguay and Uruguay (continued)

Item of Activities	Bolivia	Paraguay	Uruguay	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
4. Laboratory protocol becomes appropriate/ Laboratory protocol is improved.								
4-1 To improve laboratory facilities	+							
4-2 To hold workshops for improvement of diagnostic procedures	+	+	+					
4-3(1) To promote and disseminate improved diagnostic techniques/ knowledge	+	+						
4-3(2) To promote applied diagnostic techniques/ knowledge			+					
4-4 To develop standardized protocols in collaboration with the other participating laboratories			+					
4-5 To publish and disseminate the standardized protocols			+					
5. Regional information network is formed.								
5-1 To establish a regulation of regional laboratory network organisations with the collaboration of the participating countries	+	+						
5-2 To participate in the network	+	+	+					
5-3 To exchange information through the network utilizing the Internet	+	+	+					
6. Regional coordination system is established.								
6-1 To foster Institutionalization	+	+	+					
6-2 To participate regularly in the Project Steering Committee meetings	+	+	+					
7. Research groups are formed in the region.								
7-1(1) To participate in regional research groups	+	+						
7-1(2) To implement activities of regional joint research			+					
7-2(1) To participate in joint seminars in the region	+	+						
7-2(2) To hold joint seminars in the region			+					
7-3 To publish a research paper			+					



ANNEX IV STEERING COMMITTEE

1. Function

The Steering Committee will be held periodically and whenever the necessity arises in order to fulfil the following functions:

- (1) To develop and improve the detailed activities of the Project
- (2) To coordinate, monitor and evaluate the activities of the Project
- (3) To summarise progress of the activities of the Project and report it to the Joint Coordinating Committee

2. Committee Composition

(1) Chairperson:

Dean of Faculty of Veterinary Sciences, National University of La Plata as the Project Manager

(3) Members:

- 1) Argentine side
 - a. General Coordinator
 - b. Coordinator for Bolivia
 - c. Coordinator for Paraguay
 - d. Coordinator for Uruguay
- 2) Bolivian side
 - a. Country Coordinator of Bolivia
- 3) Paraguayan side
 - a. Country Coordinator of Paraguay
- 4) Uruguayan side
 - a. Country Coordinator of Uruguay
- 5) Japanese side
 - a. Experts assigned to the Project
 - b. Personnel concerned of the Project

Notes: Persons designated by the Chairperson may attend the Steering Committee meeting.

